

主要な施策の成果報告書

はじめに

恵庭市では、「花・水・緑 人がつながり夢ふくらむまち えにわ」を将来都市像として位置づけた「第5期総合計画」及び、人口減少に負けないまちづくりを目指し、ガーデンデザインプロジェクトを主要事業として位置づけた「総合戦略」を道標とし、将来に亘り多くの方々が住みたくなる、住み続けたくなるまちを目指しまちづくりを進めてきております。

一方、国においては「平成29年度地方財政収支の仮試算」により、地方の一般財源総額について平成28年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に確保することとされ、さらに、「地方財政計画」では、地方公共団体が自主性・主体性を最大限発揮して地方創生に取り組み、地域の実情に応じたきめ細かな施策を可能にする観点から平成27年度に創設された「まち・ひと・しごと創生事業費」について平成29年度においても1兆円が確保されたところであります。

このため、恵庭市では平成28年度予算を基準とした予算編成を行いました。収支不足が生じたため財政調整基金の繰入を余儀なくされました。その様な状況のもと、第6次行政改革推進計画の3つの柱に基づく取組を行いながら「未来へ羽ばたく平成29年度予算」として、重点施策に次の5本の柱を掲げて編成いたしました。

- 1 次代を担う人材を育む子育てしやすいまちづくり
- 2 自然と共生した暮らしやすいまちづくり
- 3 みんなで安全を支え安心して住み続けたくなるまちづくり
- 4 新しい価値を創造し恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり
- 5 誰もが明るく健康に過ごすまちづくり

決算を迎えるにあたり、市税や地方交付税、地方消費税交付金の収入が予算を上回ったこと等の要因から、財源不足に対する財政調整基金の繰入は取り止めたものの、今後も新ごみ焼却施設の供用開始などを控えているため、経常収支の確保については依然として課題となっているところであります。

次頁からは、これまでの行政目的の達成状況や今後の予算編成の参考とするため、平成29年度に実施した事務事業の主なものについて、総合計画に掲げる5つの基本目標ごとに分類した「主要な施策の成果報告書」として、まとめましたので報告いたします。

基本目標Ⅰ 市民による市民のためのまち

目標01 様々な担い手によるまちづくり

恵庭市まちづくり基本条例を基本とし、市民と行政が、それぞれの能力を生かし、役割分担をして課題の解決に取り組む「協働」のまちづくりを推進しました。

●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進

各町内会や各種地域団体、ボランティア団体などのネットワーク化に加え、緑と語らいの広場複合施設「えにあす」への市民活動センター移転により市民主体の活動が行いやすい環境整備に努めるとともに、まちづくりやコミュニティ活動に取り組もうとする団体や市民に対しての支援策を進めました。平成28年度からふるさと納税推進事業を開始し地元の製品の消費拡大と恵庭の情報発信に取り組みました。

・市民活動支援補助金 (P. 59)	2, 314千円
まちづくりチャレンジ協働事業補助金 (20団体 21事業)	2, 103千円
学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金 (5団体 5事業)	211千円

・恵庭市市民活動センターの運営 (P. 58~59)

市民活動の一層の活性化及び活発化を図り、町内会・自治会をはじめ市民活動団体の自主的かつ主体的な活動を総合的に支援する拠点となる「市民活動センター」において、「恵庭市市民活動センター運営協議会」とともに市民活動団体の活動を支援しました。

平成30年3月31日現在会員数142 (団体85 個人15 企業42)

・ふるさと納税推進事業 (P. 62)

120, 917千円

市外に住所地を有する1万円以上の個人寄附者を対象に恵庭で生産された特産品を「返礼品」として贈呈することで寄附の拡大、恵庭の情報発信や地元製品の消費促進につながりました。

平成29年度ふるさと納税 件数16, 019件 寄附総額208, 003千円

●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進

・地域会館整備事業支援 (P. 58)

5, 071千円

恵み野東会館改修工事 他

・地域会館維持管理・自治活動支援 (P. 58)

29, 466千円

地域会館維持管理費補助金 1, 381千円

会館借り上げ費補助金 1, 357千円

(島松旭町、島松東町、恵央町、相生町、末広町)

自治活動交付金 22, 948千円

地域会館整備補助金 (和光会館耐震改修工事) 3, 780千円

・「えにわ知恵ネット」サイトの開設 (P. 58)

登録団体数 101団体 (団体72 個人29)

平成29年度新規登録数 1件

・地域担当制の導入

平成28年度から地域と行政のパイプ役となり協働のまちづくりを推進するため3名の担当職員を配置しました。

- ・地域担当者会議
- ・生活環境改善要望（187件）
- ・町内会の合併に向けた協力（穂栄町内会・北島町内会）
- ・地区町内会連合会役員会等への参加

目標02 時代のニーズに沿った変革

限られた資源のなかで効率的な行政運営を行うため、市民の声を生かし、「選択と集中」を軸として、効率的な行政運営に努めました。

●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築

・行政評価制度の推進

健全な行財政運営に向けた事務事業の適正化と職員一人ひとりの改革意識を醸成するため、課及び職員提案による行政評価を実施しました。

提案件数 97件

【評価結果】課が自ら実践し取組を進めているもの：13件（特に優れた取組4件）

他課への提案：84件（行革メニュー採用33件、観察40件） ※重複案件は統合

・民間活力の活用（PPPの推進）

職員の意識向上と更なる推進を図るため、恵庭市PPPに関する基本方針の改定を行ったほか、図書館の指定管理者制度を導入し、民間活力の活用による図書館サービスの充実を図りました。

恵庭市立図書館指定管理料（市立図書館、恵庭分館、島松分館） 125,092千円

・公共施設の有効活用（公共マネジメント）

公共施設等総合管理計画の実施計画について行政改革組織を活用し進捗管理を行いました。

・職員研修の充実

恵庭市人材育成プログラム検討委員会を設置し、職員研修の具体的な取り組みの検討や恵庭市人材育成方針の更なる推進に努めたとともに、組織マネジメント推進と連動した取り組みとして、マネジメントの強化、時間外勤務の縮減、クレームを生まない接遇等の研修を企画・実施しました。

- ・接遇・クレーム対応研修
- ・特別研修（コミュニケーション研修、コンプライアンス研修、プレゼンテーション研修）
- ・ペーパードライバー・安全運転研修
- ・女性職員リーダー研修会
- ・先進都市派遣研修

・札幌広域圏組合の事業推進（P.60）

438千円

札幌広域圏組合を通し、職員研修や観光客を呼び込む地域振興イベント、都市と農村の交流活動などを石狩管内の構成8市町村のスケールメリットを生かし展開しました。

職員研修・研究事業：共同研修（札幌広域圏組合共同研究事業）

情報発信事業：広報事業

人材・文化交流事業：ジュニアコンサート事業、札幌圏アート振興事業

逸品発掘事業：物販イベント、飲食店等イベント

移住促進事業：首都圏移住フェア

婚活支援事業：バスツアー

●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な財政運営の確立

・市税・国保税コンビニ収納の実施

平成29年度も引き続き市・道民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税の税目について、コンビニエンスストアでの収納を実施し、曜日や時間を問わない収納を行うとともに、平成28年度から開始したインターネットを利用したクレジットカード納付を普及推進し、更なる利便性の向上を図りました。

納期内納付率の推移

(納付件数/納税義務者数)

	市・道民税（普徴）		固定資産税		軽自動車税		国民健康保険税			
	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28		H29	
1期(6期)	67.9%	72.2%	75.8%	79.4%	69.7%	73.7%	75.2%	(79.8%)	78.0%	(81.2%)
2期(7期)	71.0%	74.5%	82.6%	85.9%			75.1%	(80.1%)	78.6%	(81.5%)
3期(8期)	71.3%	73.6%	84.3%	83.0%			78.3%	(80.6%)	80.6%	(81.9%)
4期(9期)	75.3%	77.1%	90.0%	89.9%			79.0%	(81.4%)	80.1%	(83.1%)
5期(10期)							80.4%	(82.7%)	82.3%	(83.6%)
期別計	71.4%	74.4%	83.2%	84.6%	69.7%	73.7%	79.3%		81.1%	
前年比	+3.0%		+1.4%		+4.0%		+1.8%			

●公共施設の複合化による機能面の充実

・公共機能の移転・複合化事業

地域の特性を活かしたコンパクトシティを推進するとともに、公共施設マネジメントの観点から、平成30年4月からの利用開始を目指し、「緑と語らいの広場複合施設（えにあす）」へ市民活動センター、保健センター等の公共機能の移転、複合化事業を実施しました。えにあすの管理には、官民協働による新たな手法を導入しており、スポーツクラブ、コンビニエンスストア、地域FM放送等の民間機能を併せて設置することによって新たな賑わいの創出を図りました。

緑と語らいの広場複合施設移転整備事業（P.63～64）

- ・市民活動センター移転整備事業 21,234千円
- ・保健センター移転整備事業 2,415千円
- ・夜間・休日急病診療所移転整備事業 1,682千円
- ・図書館恵庭分館移転整備事業 6,968千円
- ・学童クラブ移転整備事業 643千円
- ・フーレえにわ整備事業 90千円
- ・みんなの広場移転整備事業 1,275千円

・教員住宅等改修・解体事業

道路網の整備に伴う通勤圏の拡大や民間賃貸住宅の充足に加え、ライフスタイルの変化による教員住宅等のあり方の変化を踏まえ、増大する維持管理費の低減と入居率の向上を図るため教職員住宅等の改修・解体事業を実施しました。

- ・管理者住宅改修事業 10,033千円
恵み野小学校管理者住宅の改修、島松小学校管理者住宅の解体
- ・教員住宅解体事業 22,064千円
恵庭2号棟の解体

目標03 とともに学びともに知る情報

市民ニーズを的確にとらえ、様々な媒体を活用し情報発信を行い、市民と行政が役割と責任を自覚し、お互いに情報を共有しながら透明性の高い開かれた行政運営に努めました。

●市民と行政との情報共有の推進

・広報えにわの充実 (P.53)

19,115千円

広報活動

広報えにわ発行	384,000部	(月平均32,000部)
くらしのカレンダー	384,000部	(月平均32,000部)
生活便利帳	2,000部	
えにわめぐりマップ(転入者用)	2,500部	

・コミュニティFMラジオおよびメール配信の活用 (P.53)

3,455千円

FMラジオ 1日3回、週5日(閉庁日除く)。ほかイベント放送2回
メール配信 月2回

●開かれた行政運営の推進

市民要望や市民意識を把握するなど広聴活動の充実に努め、庁内及び関係機関との連携を強化し、安心して相談できる環境づくりを進めました。

市民の声(苦情・相談など) 59件
生活環境改善要望 187件
人権委員・行政委員による生活困りごと相談 2回(13人)
市民の広場 4回開催(延参加者数76人)
総合行政相談 2回(4人)

・パブリックコメントの推進

市民と行政の信頼関係の基礎となる透明性を確保し、政策形成過程への市民参加と市民への説明責任を果たす目的でパブリックコメント制度を実施しました。

平成29年度パブリックコメント実施状況(6案件、2名、意見数7件)

基本目標Ⅱ 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち

目標04 災害に強い地域防災力

大規模災害に備えて平常時から市民の防災意識の高揚を図るとともに「自助・共助・公助」による協働の仕組みづくりの推進に努めました。

●防災意識の普及、推進

防災訓練や防災教育を推進するとともに、防災設備の点検・整備に努め、緊急時に対応できる体制の確保に努めました。

・地域防災計画・国民保護計画の推進 (P. 146~147)

災害時における警察・消防・町内会等の避難支援等関係者への提供を目的に、避難行動要支援者名簿を更新したほか、避難所機能の充実を図るため避難所の運営に係る説明を実施しました。また、防災組織づくりのための出前講座や学習会を実施するなど、市民啓発活動を積極的に実施しました。

- ・出前講座の実施 28回開催、延べ906人参加
- ・防災学習会の実施（柏陽中学校及び柏陽会館にて開催） 83人参加
- ・避難所運営マニュアル等説明会の実施 33町内会、60人参加
- ・避難行動要支援者名簿の更新 平常時名簿 500名、災害時名簿 1,966名

・自主防災組織等活動支援助成金 (P. 147) 3,338千円

地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進するため、自主防災組織の活動、新規設立に対し、その経費の一部を助成しました。

- ・平成29年度末 自主防災組織 38組織（昨年度末29組織）

・地域防災マスターの育成 (P. 146)

自主防災組織の組織率向上や既存組織の活性化、地域防災計画の浸透を目的に「恵庭市地域防災マスター」の研修会を実施し、地域の防災リーダーの育成に努めました。

- ・実施日 平成30年2月3日（防災マスター研修会） 参加者82名

・災害用物資備蓄品整備事業 (P. 147) 19,382千円

大規模災害時を想定した「恵庭市災害用物資備蓄計画」に基づき、緊急時の生活用品等の備蓄を計画的に進めました。

- ・ストーブ37台、車いす2台、照明器具4台、発電機13台、寝具3,050枚等

●防災情報の的確な発信

災害時において的確に防災情報を収集、発信できる体制を確保するため、情報通信機器の更新整備等を実施し、地域防災力の強化を図りました。

- ・庁舎J-ALERT・非常用放送設備整備事業 4,925千円
- ・防災行政無線蓄電池更新事業 1,639千円
- ・サーバー室移転事業 16,628千円

●耐震改修の推進

・恵庭市耐震改修促進計画の推進 (P. 134)

- ・平成22年度「木造住宅耐震診断助成」開始、平成29年度実績：11件
- ・平成22年度「木造住宅耐震改修助成」開始、平成29年度実績：1件

目標05 支えあう消防救急体制

複雑多様化する災害事象や救急需要に迅速かつ的確に対応し、住民の生命、身体、財産を災害から守るため、持てる施設、装備、人員を最大限に活用し、安全・安心なまちづくりに努めました。

●消防体制の充実

災害による被害の軽減を図るため、消防団の充実、活性化を推進し、消防施設、消防車両、資器材などを整備することにより、消防救急体制の充実強化に努めました。

・消防施設などの整備・更新 (P.143～146)

- ・消火栓更新整備事業 10基 4,695千円
- ・はしご付消防ポンプ自動車整備事業 1台 29,173千円 (平成29年度分)
*リース期間 平成29年2月1日～平成39年1月31日
- ・消防団資器材整備事業 一式 1,334千円
- ・給油取扱所拡張事業 7,452千円
- ・大型水槽車積載小型動力ポンプ更新整備事業 一式 2,211千円
- ・水槽付消防ポンプ自動車更新整備事業 一台 67,392千円
- ・消防用資機材整備事業 一式 2,986千円

・メディカルコントロール体制の充実 (P.143)

- ・気管挿管実習2名 (修了者現在計13名)
- ・薬剤投与救命士認定者数3名 (認定者現在計24名)
- ・気管挿管救命士再認定講習4名 (修了者現在計8名)
- ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管救命士認定講習1名 (修了者現在計6名)
- ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管救命士実習1名 (修了者現在計5名)

・応急手当普及啓発活動の強化推進 (P.143～144)

- ・AED (自動体外式除細動器) トレーナーを活用する等の救急救命講習会の実施
開催状況 上級 (2回・29人) 普通 (19回・338人) 一般 (32回・743人)
救命入門 (11回・358人)
- ・AED設置施設表示証交付状況
表示証交付施設数 (H29年度末) : 149施設

●防火団体の育成

市民一人ひとりの防火意識を高め、住宅用火災警報器の普及推進を図るとともに、防火対象物における消防設備の維持管理と違反是正対策を強化するなど、防火安全対策を推進しました。

・住宅用火災警報器の設置推進

- ・平成29年度末設置率 : 85.0% (昨年度末78.0%)
- ・推進活動 : 出前講座14回、訪問指導24回の計38回実施

目標06 安全安心の日常生活

地域ぐるみで、交通事故・犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを進め、消費生活知識の普及啓発や、無料法律相談を実施しました。

●交通安全・防犯活動の推進

地域や関係団体と警察署が連携をとりながら、市民一人ひとりの交通安全や防犯意識を高めて交通事故や犯罪のない安全安心のまちづくりを進めました。

・自主防犯活動の促進 (P. 57)

1) 地域安全ニュースの発行

市内で発生した犯罪等を記載した地域安全ニュースを毎月発行し、市民の防犯意識の高揚を図りました。

2) 街頭啓発巡回パトロールの実施

- ・平成29年12月15日：市内の飲食店街に啓発物品を配布する夜間巡回パトロールを実施

・防犯灯等の設置状況 (P. 57)

1, 076千円

平成29年度新設設置状況

- ・防犯灯 15灯

・交通安全啓発活動の実施 (P. 54~55)

1) 人身事故発生状況(各年12月末現在) (人)

区分 年	発生件数	負傷者	死者
29年	101	106	1
28年	105	113	2
比較	△4	△7	△1

2) 交通安全啓発事業

- ・交通安全警戒・注意等の看板の設置 10基
- ・交通安全旗の掲揚及び配布 (309枚)
- ・交通安全運動の実施 4期(4月・7月・9月・11月) 40日
- ・交通事故抑止市民大会 平成29年4月8日 約400人参加
- ・自転車マナー啓発の実施 恵庭駅1回、恵み野駅1回、恵庭北高校1回
- ・交通安全教室の開催 (人)

区分	回数	参加人員
幼稚園・保育園	82	6,192
小学校	49	3,949
老人クラブ	3	170
町内会等	8	142
合計	142	10,453

- ・交通公園利用実績 団体利用2,026人、個人利用5,797人

3) 交通指導員の活動

- ・交通安全指導員 (14名)
4期40日の交通安全運動期間中における街頭指導並びに交通安全啓発活動の実施
- ・交通安全児童指導員 (8名)
市内各小学校の登下校時の街頭指導及びこぐまクラブ・小学校・町内会等での交通安全教室開催

・交通安全指導車更新整備事業 (P. 55) 1台 2,506千円

・交通安全対策交付金事業 (P. 137)

・区画線塗布工事 10,000千円

区 分	中心線(m)	外側線(m)	ドット線(m)	路面表示(m)
29年度	29,720	33,285	1,510	1,168
28年度	24,961	43,320	1,276	30
比 較	4,759	△ 10,035	234	1,138

●消費生活相談事業の推進

・消費生活相談及び小売価格調査等の実施 (P. 57) 7,273千円

消費生活相談業務

相談員 4名 (平成30年3月31日現在)

毎週月曜日～金曜日 (10時～17時)

区 分	29年度	28年度	増減
相談件数	403	288	115

(相談内訳：件)

区 分	契約・金銭トラブル	サイト登録等	勧誘・販売方法等	架空請求	問合せ	その他	計
件 数	85	54	28	147	25	64	403

消費者出前講座

講 座 内 容	回 数	人 数
悪質商法事例について ほか	7回	276人

1) 恵庭消費生活展

開催日：平成29年8月26日 来場者数 約500人

2) 小売価格調査事業(灯油・ガソリン・軽油・LPガス)

調査回数：毎月1回

調査地区：18店舗

3) 試買量目調査の実施状況

実施日：平成29年11月9日

調査品目：生鮮食料品 6品目

調査地区：9店舗

4) 消費者被害防止セミナー

開催日：平成30年3月13日 参加者数 47人

・無料法律相談の実施 (P. 54)

1,361千円

弁護士法律相談 36回 205人

司法書士法律相談 3回 10人

目標07 助け合いのちを大切にすまち

市民一人ひとりの人権が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、市民一人ひとりの人権尊重についての理解を深め、自立した生活ができるように支援を推進しました。

●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援の推進 (P. 87・91～93)

・自立支援事業

区 分	児童発達支援事業			放課後等デイサービス事業			保育所等訪問支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用時間	実人員	金額(千円)
29年度	5,711	120	31,730	15,541	128	154,806	23	2	212
28年度	4,142	104	24,297	14,215	116	125,466	17	2	167
比 較	1,569	16	7,433	1,326	12	29,340	6	0	45

区 分	医療型児童発達支援事業			短期入所事業			居宅介護事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用時間	実人員	金額(千円)
29年度	0	0	0	604	22	5,440	256	7	4,429
28年度	0	0	0	273	14	4,161	458	7	4,419
比 較	0	0	0	331	8	1,279	△ 202	0	10

※集計方法の変更：～28年度は「基準月（2月）人*12カ月」により算出、29年度～実数

・地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			日中一時支援事業(重度入浴型)			訪問入浴サービス支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
29年度	1,028	14	4,305	108 (225)	9 (6)	142 (2,834)	3	1	35
28年度	1,303	21	5,486	89 (118)	13 (5)	234 (1,478)	0	0	0
比 較	△ 275	△ 7	△ 1,181	19 (107)	△ 4 (1)	△ 92 (1,356)	3	1	35

・子ども発達支援センター事業

区 分	障がい児通所支援			市町村子ども発達支援センター事業				
	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	センター基本相談	乳幼児健診		乳幼児発達支援教室	
					1歳6ヵ月健診	3歳児健診		
29年度	5,104	1,121	23	157	39	31	86	
28年度	3,300	1,072	17	105	22	43	83	
比 較	1,804	49	6	52	17	△ 12	3	

区 分	相談支援事業		社会生活支援	小児神経医による発達相談	合 計
	障害児相談支援	特定相談支援			
29年度	577	94	59	21	7,312
28年度	517	70	84	19	5,332
比 較	60	24	△ 25	2	1,980

●自立支援事業の推進 (P. 78・81～91・102・237)

- ・ボランティア活動推進事業 市補助 950千円
- ・認知症高齢者対策事業 市補助 199千円
- ・民生・児童委員連絡協議会活動の促進 市補助 10,936千円
- ・地域福祉ふれあい事業の推進

障がいのある人とない人のふれあいを促進するための事業 (410千円)

実施回数 26回、延参加者数 1,111人

・社会参加促進事業の推進

心身障害者ボウリング委託事業 (47千円)

障がい者の社会参加促進のため、福祉関係団体の企画・実施による事業

参加者数 25人

・障がい者就労支援事業の推進

農福連携による就労機会の提供

延参加者数 989人

・障がい者自立支援事業の推進

1)障がい者施設系サービス (自立支援給付)

区 分	居住系サービス			日中活動系サービス				
	施設入所支援	共同生活介助(ケアホーム)	共同生活援助(グループホーム)	生活介護	就労移行支援	就労継続A	就労継続B	自立訓練
29年度	90		81	196	16	52	180	4
28年度	95		79	194	16	48	172	5
比 較	△ 5	0	2	2	0	4	8	△ 1

区 分	合 計	
	実人員	金額(千円)
29年度	619	1,111,683
28年度	609	1,058,962
比 較	10	52,721

※居住系及び日中活動系サービスの双方を利用している者は、それぞれの人数に計上

・地域活動支援事業の実施

区 分	地域活動支援センター	
	設置箇所	利用延人数
29年度	1	1,608
28年度	1	1,778
比 較	0	△ 170

・在宅支援サービスの状況

1) 身体障がい者居宅生活支援

区 分	ホームヘルプ事業			日中一時支援事業（ケア型）			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
29年度	5,833.0	27	21,163	0	0	0	55	1	1,487
28年度	6,602.3	42	27,164	25	1	184	37	2	1,114
比 較	△ 769.3	△ 15	△ 6,001	△ 25	△ 1	△ 184	18	△ 1	373

2) 知的障がい者居宅生活支援

区 分	ホームヘルプ事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
29年度	758.8	16	3,190	1,471	15	10,364
28年度	411.0	9	1,908	1,092	13	8,503
比 較	347.8	7	1,282	379	2	1,861

3) 地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			日中一時支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
29年度	542	36	3,564	68	13	182
28年度	552	25	3,122	34	12	173
比 較	△ 10	11	442	34	1	9

・相談支援体制

恵庭市障がい者総合相談支援センター「e-ふらっと」

区 分		身体	知的	精神	重度心身	発達	高次脳機能	団体・その他	障がいの重複分	総計
29年度	相談実件数	303	1,141	547	0	115	10	111	343	1,884
	相談延件数	1,317	5,136	2,612	0	476	34	334	1,408	8,501
28年度	相談実件数	327	1,020	557	0	108	0	70	285	1,797
	相談延件数	1,497	4,917	2,999	0	221	0	131	1,188	8,577
比 較	相談実件数	△ 24	121	△ 10	0	7	10	41	58	87
	相談延件数	△ 180	219	△ 387	0	255	34	203	220	△ 76

・老人憩の家利用状況

区 分	利用者数	開館日数	1日利用者数
福 住	4,168	290	14
和 光	10,142	290	35
大 町	8,687	290	30
柏 陽	13,393	291	46
恵み野	19,545	291	67
島 松	18,296	298	61
東恵庭	1,872	292	6
合 計	76,103	2,042	37

- ・介護保険施設等高齢者対策推進事業 対象者 338人(75歳以上) 1人1,300円
- ・老人福祉スポーツ大会 平成29年7月27日 796人
- ・老人健康ハイキング 平成29年6月28日、29日 462人
- ・老人クラブ運営事業の推進 単位老人クラブ運営費補助 34クラブ 1,708千円
- ・敬老祝品贈呈事業
77歳 684人(3,843円)、100歳 10人(5,523円) 計2,899千円
- ・福祉バスの運行 運行日数 222日 利用者数 9,395人

・精神保健福祉自立支援給付事業の実施

区分	居宅介護		生活介護		短期入所		サービス計画	
	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数
29年度	6	444	0	0	1	4	12	283
28年度	6	422	1	89	0	0	15	320
比較	0	22	△1	△89	1	4	△3	△37

区分	地域移行支援		共同生活援助		宿泊型自立訓練		自立・生活訓練	
	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数
29年度	1	0	12	4,519	3	1,082	3	557
28年度	1	10	15	4,726	3	946	3	446
比較	0	△10	△3	△207	0	136	0	111

区分	就労継続A※		就労継続B※		就労移行※	
	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数
29年度	27	6,052	66	8,752	7	1,165
28年度	25	4,068	67	10,362	4	977
比較	2	1,984	△1	△1,610	3	188

※就労継続A：雇用型、就労継続B：非雇用型、就労移行：一般就労を目的とした訓練

※ 実利用人数：生活介護9月時点、地域移行支援5月時点、その他は2月時点

・精神障害者地域活動支援センター等通所交通費助成

区分	実人員	通所施設数	助成日数
29年度	23	19	2,868
28年度	20	15	2,966
比較	3	4	△98

・相談指導体制の充実

普及啓発（講演会、講座、学習会等）

区分	回数	延参加数
29年度	6	98
28年度	11	116
比較	△5	△18

相談

区分	来所・電話・メール 延相談数	訪問数（実／延）
29年度	220	18 / 22
28年度	300	15 / 21
比較	△80	3 / 1

・生活保護の状況（年度末）

区 分	保護世帯数	保護者数
29年度	722	967
28年度	737	1,006
比 較	△ 15	△ 39

区 分	29 年 度		28 年 度		比 較	
	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）
生活扶助	10,377	474,418	10,596	494,417	△ 219	△ 19,999
住宅扶助	10,384	188,054	10,618	186,485	△ 234	1,569
教育扶助	933	10,264	1,067	11,889	△ 134	△ 1,625
介護扶助	2,049	27,519	2,079	27,125	△ 30	394
医療扶助	10,124	873,688	10,311	947,307	△ 187	△ 73,619
生業扶助	481	7,930	433	7,308	48	622
葬祭扶助	9	2,266	9	1,950	-	316
出産扶助	-	-	-	-	-	-
施設事務費	12	885	12	1,836	-	△ 951
就労自立給付費	1	133	-	-	1	133
合 計	34,370	1,585,157	35,125	1,678,317	△ 755	△ 93,160

●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進

・男女共同参画推進事業の支援（P. 69～70）

243千円

平成29年度啓発事業実績

・男女共同参画活動室

まなび館2階に設置し、啓発の場として活用するほか、共同参画に取り組む団体へ支援を実施

・男女共同参画フォーラム「女のキャリア・男のキャリアージェンダーの視点でみる現代社会」

平成29年6月10日開催

・男女共同参画事業のパネル展を実施

男女共同参画推進週間（6月 図書館ギャラリー）

女性に対する暴力をなくす運動（11月 総合体育館ロビー）

・啓発用ポケットティッシュ、ポスター、チラシの配布

・フェイスブックを活用した周知活動

・情報紙「さくらんぼ」の発行 3月 1,500部

・地域FM放送による情報発信

目標08 夢と健康を育むまち

子どもから高齢者まで日々健やかに暮らせるまちの実現を図り、ライフステージに合わせた健康づくりや生活習慣病の予防、改善、予防接種や検診事業などの支援を推進しました。

●健康づくり計画・食育推進計画の推進及び啓発（P. 106～108・234～235）

・健康教育・健康相談事業の充実

区 分	健康増進事業		出前講座等		ヘルデイックウォーキング講習会		高齢者健康教育事業	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	延人員	回数	延人員
29年度	12	219	46	1,195	4	41	3	100
28年度	14	364	42	1,131	4	68	3	132
比 較	△ 2	△ 145	4	64	0	△ 27	0	△ 32

・歩くことを通したまちづくり事業の実施

区 分	参加数
29年度	3,180
28年度	2,226
比 較	954

・食育推進事業の推進

区 分	食育講座・講話		講演会		食育推進 協議会回数	食育展示 回数
	回数	参加数	回数	参加数		
29年度	7	120	1	36	2	4
28年度	5	54	1	78	2	4
比 較	2	66	0	△ 42	0	0

・歯科口腔保健普及啓発事業

区 分	歯科医師健口教室	
	回数	人数
29年度	4	173
28年度	4	164
比 較	0	9

・高齢者介護予防事業の実施

区 分	介護予防日常生活支援事業 通所型				同 訪問型		介護予防把握事業					
	体力向上		生活機能		口腔機能		訪問型		訪問相談		頭元気度	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	実人員	延人員	回数	延人員
29年度	36	87	-	-	3	5	1	1	641	661	4	23
28年度	36	134	36	59	12	50	4	9	808	834	4	29
比 較	0	△ 47	-	-	△ 9	△ 45	△ 3	△ 8	△ 167	△ 173	0	△ 6

※生活機能向上教室は、体力向上教室と一体化して実施

区 分	介護予防普及啓発事業										地域介護予防活動支援事業			
	講演会		言語嚥下相談		バランスアップ教室		高齢者健康教室		老人クラブ健康教育		サポーター養成講座		地域支援・講演会	
	回数	人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	人員	回数	延人員	回数	延人員
29年度	2	123	-	-	-	-	4	65	34	1,050	13	149	50	1,027
28年度	2	203	1	3	5	97	2	37	31	1,100	11	72	30	625
比 較	0	△ 80	-	-	-	-	2	28	3	△ 50	2	77	20	402

※言語嚥下相談、バランスアップ教室は地域介護予防活動支援事業として実施

●予防接種・健康診査・がん検診の推進 (P. 105～109・192～199・211～212)

・エキノコックス症予防対策事業

区 分	受診数	擬陽性	陽性	中止
29年度	40	0	0	0
28年度	43	0	0	0
比 較	△ 3	0	0	0

・予防接種事業

区 分	BCG接種	四種混合	不活化 ポリオ	二種混合 (11～13歳未満)	麻しん	風しん	混合 (麻風しん)	ヒブ
29年度	475	1,895	18	456	0	0	1,002	1,883
28年度	468	1,955	19	495	0	0	1,034	1,907
比 較	7	△ 60	△ 1	△ 39	0	0	△ 32	△ 24

区 分	小児用 肺炎球菌	子宮頸がん	水痘	日本脳炎	B型肝炎	インフルエンザ	肺炎球菌 (定期)
29年度	1,879	1	837	4,214	1,422	8,193	2,075
28年度	1,912	1	928	4,635	792	8,261	2,278
比 較	△ 33	0	△ 91	△ 421	630	△ 68	△ 203

○日本脳炎はH28.4より実施 ○B型肝炎はH28.10より実施

・健康診査事業・各種がん検診事業の充実

区 分	健康診査・保健指導		肝炎ウイルス検診		
	受診者数	保健指導数	受診者数	C型陽性	B型陽性
29年度	61	7	542	0	6
28年度	70	7	473	2	6
比 較	△ 9	0	69	△ 2	0

○「要精検」「発見がん」の件数
については、H28年度は実績
値、H29年度はH30.5月末現在

○子宮がん検診は、頸部・体部

※がん検診推進事業分含む

区 分	胃がん検診			子宮がん検診 ※			乳がん検診 ※		
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん
29年度	2,198	194	4	999	9	0	1,245	40	5
28年度	2,177	147	4	1,070	19	0	1,160	46	4
比 較	21	47	0	△ 71	△ 10	0	85	△ 6	1

区 分	肺がん・結核検診			大腸がん検診			成人歯科健診・相談			
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	回数	受診数	要指導	要医療
29年度	2,331	67	2	2,661	230	9	8	181	7	88
28年度	2,217	80	5	2,562	214	6	8	177	4	91
比 較	114	△ 13	△ 3	99	16	3	0	4	3	△ 3

・妊婦健康診査費用の助成

区 分	妊婦健康診査受診票		妊婦一般健診 助成数	超音波検査 助成数
	交付人数	助成総数		
29年度	755	8,147	5,653	2,494
28年度	752	7,680	5,521	2,159
比 較	3	467	132	335

・妊婦にやさしい環境づくり事業（マタニティマークストラップ）

区 分	配布数
29年度	447
28年度	496
比 較	△ 49

・特定不妊治療費用の助成

区 分	件数
29年度	40
28年度	53
比 較	△ 13

・乳幼児育児支援事業の実施

区 分	訪問指導			健康相談		
	赤ちゃん 家庭訪問	養育支援 家庭訪問		乳幼児 相談日		来所 相談
		訪問世帯数	実数	延数	回数	
29年度	472	53	94	12	400	41
28年度	434	55	87	12	463	36
比 較	38	△ 2	7	0	△ 63	5

区 分	健康教育							
	妊婦教室 両親教室		育児教室		子育て講話		思春期保健	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
29年度	18	267	6	87	12	246	8	301
28年度	21	267	6	87	13	323	8	296
比 較	△ 3	0	0	0	△ 1	△ 77	0	5

・歯科保健対策の実施

（う歯予防）

区 分	フッ素塗布者数
29年度	1,801
28年度	1,824
比 較	△ 23

・乳幼児健康診査事業の実施

（乳児健診）

区 分	受診者数	要精検	要観察
29年度	935	10	181
28年度	975	13	223
比 較	△ 40	△ 3	△ 42

（先天性股関節脱臼健診）

区 分	受診者数	有所見	要治療
29年度	457	4	0
28年度	428	9	1
比 較	29	△ 5	△ 1

（1歳6か月児健診）

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
29年度	503	6	149	502
28年度	509	4	174	508
比 較	△ 6	2	△ 25	△ 6

（3歳児健診）

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
29年度	533	36	159	529
28年度	579	14	159	579
比 較	△ 46	22	0	△ 50

・特定健診・脳ドック等各種検診事業 (P. 198・211)

(国民健康保険特定健康診査・脳ドックの状況)

区 分	特定健康診査		脳ドック		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
29年度	2,700	28,129	434	6,902	3,134	35,031
28年度	2,763	28,672	531	8,458	3,294	37,130
比 較	△ 63	△ 543	△ 97	△ 1,556	△ 160	△ 2,099

(後期高齢者医療健康診査・脳ドックの状況)

区 分	健康診査		脳ドック		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
29年度	1,278	14,085	254	4,055	1,532	18,140
28年度	1,131	11,119	244	3,898	1,375	15,017
比 較	147	2,966	10	157	157	3,123

●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境

・スポーツイベントの充実 (P. 112~113)

(市民スポーツ交流機会の開催状況)

(単位：人)

大 会 名	期 日	会 場	参加人数
えにわ健康・スポーツフェスティバル	9月24日	総合体育館他	5,101
少年少女ミニバレー大会	12月10日	総合体育館	197
恵庭クロスカントリースキー大会	2月17日	畜産共進会場	1,063
市民スポーツ大会 (16団体)	通年	市内体育施設他	2,744
合 計	-	-	9,105

・スポーツ機会の提供 (P. 112~113)

(スポーツ教室・講習会等の開催状況)

(単位：人)

事 業 名	期間/回数	会 場	参加人数
フィットネスエクササイズ※	通 年 60回	総合体育館	2,417
初心者水泳教室/水中体操教室	7月~8月 4回	恵庭南高校水泳プール	14
各種スポーツ実技指導※	通 年 124回	総合体育館他	1,725
市民ハイキング	6月17日	滝野すずらん公園	16
ニュースポーツ教室	6月~3月 4回	総合体育館	241
スポーツ少年団スポーツテスト会	8月2日、1月23日 2回	総合体育館	470
合 計	-	-	4,883

※指定管理者委託事業

・競技力向上事業 (P. 112~113)

(単位：人)

事 業 名	期 間	会 場	参加人数
子ども夢チャレンジ野球教室(実行委主催)	7月2日	恵み野中央公園野球場	59
セガ・サマーカップ PRESENTS シニアスポーツクリニック(サッカー)	5月13日	福住屋内運動広場	41
セガ・サマーカップ PRESENTS シニアスポーツクリニック(テニス)	6月10日	福住屋内運動広場	25
セガ・サマーカップ PRESENTS シニアスポーツクリニック(バスケット)	6月24日	総合体育館	93
バレーボールフェスティバル	7/15~7/16	総合体育館	180
合 計	-	-	398

・スポーツ団体の育成・強化 (P.114)

1) 市内スポーツ団体の会員登録状況 (単位：団体、人)

区 分	体育協会		スポーツ少年団	
	団体数	会員数	団体数	会員数
29年度	23	2,434	30	922
28年度	23	2,491	31	910
比 較	0	△ 57	△ 1	12

2) スポーツ振興基金利子運用事業 (単位：人、団体)

区 分	対象者		種 目
	個人	団体	
国 際 大 会	4	0	スキージャンプ、アイスホッケー、空手
全 国 大 会	26	4	陸上、新体操、空手道、テニス、柔道、スキー、卓球、野球 他
高 校 総 体	1	3	陸上、新体操、空手道
高 校 選 抜	2	3	ボクシング、新体操、空手道、スキー、
国民体育大会	5	0	陸上、空手道、スキー、バスケットボール、サッカー、ホッケー
全 道 大 会	19	7	ミニバス、卓球、バレーボール、スキー
合 計	57	17	

・屋内体育施設の整備充実 (P.113~114)

1) 屋内体育施設の維持補修事業

- ・島松体育館バスケットボールゴール改修工事 1, 188千円

2) 屋内スポーツ施設等利用状況 (単位：人)

区 分	29年度		28年度		比 較
	個人	団体	個人	団体	
総合体育館	91,210	71,355	90,754	65,799	6,012
島松体育館	12,619	25,713	11,688	29,586	△ 2,942
駒場体育館	3,458	18,653	3,774	19,116	△ 779
佐伯武道館*	0	0	985	5,575	△ 6,560
福住屋内運動広場	2,377	15,936	2,738	14,950	625
合 計		241,321		244,965	△ 3,644

※佐伯武道館はH28.9月で閉館

3) 学校開放事業の利用状況 (単位：団体、人)

区 分	29年度	28年度	比 較
利用団体数	91	88	3
利用者数	28,521	27,865	656

※実利用団体数66団体

※H28より少年団に対する学校教育体育施設開放については教育長裁量による開放につき利用数からは除外

・屋外体育施設の整備充実 (P.114)

1) 屋外体育施設の維持補修費

・ 恵庭水泳プール上屋鉄骨塗装工事

10,260千円

2) 屋外スポーツ施設利用状況

(単位：人)

区 分	29年度	28年度	比 較
恵庭公園野球場	7,159	8,031	△ 872
恵庭公園陸上グラウンド	4,158	5,797	△ 1,639
恵庭公園球技場	6,569	6,552	17
恵庭公園庭球場	4,896	5,494	△ 598
かしわ公園野球場	947	846	101
島松屋外運動場	4,693	4,711	△ 18
恵み野中央公園野球場	6,246	7,520	△ 1,274
恵み野中央公園庭球場	10,298	9,210	1,088
中島公園庭球場	8,778	8,355	423
ふるさと公園庭球場	1,979	1,614	365
めぐみの森公園庭球場	115	141	△ 26
あやめ緑地公園庭球場	98	175	△ 77
恵庭中央パークゴルフ場	21,547	22,567	△ 1,020
漁川カワセミパークゴルフ場	10,452	10,958	△ 506
漁川アイリスパークゴルフ場	5,178	6,943	△ 1,765
島松パークゴルフ場	6,300	6,224	76
えなみ公園パークゴルフ場	0	91	△ 91
北栄会館パークゴルフ場	886	890	△ 4
市民スキー場(夏期)	0	180	△ 180
市民スキー場(冬期)	0	17,451	△ 17,451
市民スケート場(夏期)	1,985	2,565	△ 580
市民スケート場(冬期)	10,749	10,906	△ 157
島松スケート場	5,986	5,955	31
合 計	119,019	143,176	△ 24,157

3) 市民水泳プール利用状況

(単位：人)

区 分	29年度	28年度	比 較
恵庭水泳プール	4,872	5,019	△ 147
島松水泳プール	3,823	3,794	29
柏水泳プール	5,753	6,135	△ 382
和光水泳プール	9,118	6,978	2,140
東恵庭水泳プール	1,596	1,701	△ 105
若草水泳プール	7,455	7,663	△ 208
恵み野水泳プール	3,169	2,934	235
恵み野旭水泳プール	4,255	4,227	28
合 計	40,041	38,451	1,590

4) 恵庭南高校水泳プール利用状況

平成29年6月24日～平成29年9月10日 土・日・祝日のみ開放
利用者数 318人

目標09 持続可能な地域医療・介護体制

安心して医療が受けられる環境を整備します。

利用者のニーズに応じた介護サービスの質の確保と向上をめざし、地域密着型サービスについては指定、指導監督を行うなど、適正な介護サービスの運営に努めました。

保健・医療・福祉の関係機関と地域が連携し、一貫性・連続性のある総合的な介護予防システムを確立し、健康づくりと介護予防対策の強化・充実に努めました。

国民健康保険事業の安定、医療費補助制度の推進など、医療保障の充実に努めました。

●夜間・休日診療体制の維持 (P. 106~107)

医療の空白時間の解消のため、夜間・休日急病診療所の運営を行いました。

・休日・夜間診療事業

区 分	休 日		土 曜 日		夜 間		合計患者数
	診療日数	患者数	診療日数	患者数	診療日数	患者数	
29年度	66	1,792	49	398	356	1,748	3,938
28年度	66	1,696	50	468	359	2,005	4,169
比 較	0	96	△ 1	△ 70	△ 3	△ 257	△ 231

・救急医療システム

設置箇所：夜間急病診療所 1 ヲ所、救急告示病院 3 ヲ所、消防署 1 ヲ所

●地域包括システムの構築 (P. 81・225・230~240)

・高齢者の状況

区 分	平成30年3月末	平成29年3月末
総人口	69,447 人	69,197 人
高齢者数	18,603 人	18,073 人
高齢化率	26.8 %	26.1 %

・審査会の状況

	平成29年度	平成28年度
審査会回数	58 回	64 回
審査件数	2,527 件	2,858 件
審査件数/回	43.57 件	44.65 件

・要介護認定等の状況(第1号被保険者)

認定者数(平成30年3月末)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人 数	429	371	620	417	277	270	238	2,622

・介護保険サービスの利用状況(第1号被保険者)

居宅サービス受給者数(平成30年3月審査分)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人 数	247	267	439	261	127	93	65	1,499

施設サービス受給者数(平成30年3月審査分)

区 分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	計
人 数	107	201	42	350

地域密着型サービス受給者数(平成30年3月審査分)

区 分	地域密着型サービス
人 数	469

・第1号被保険者の保険料の状況

所得段階	保険料（円）	被保険者数	割合
第1段階	20,100	3,528	19.6%
第2段階	31,600	1,467	8.2%
第3段階	34,500	1,345	7.5%
第4段階	48,900	2,736	15.2%
第5段階	57,600	2,047	11.4%
第6段階	72,000	1,927	10.7%

所得段階	保険料（円）	被保険者数	割合
第7段階	74,800	2,946	16.4%
第8段階	86,400	1,203	6.6%
第9段階	100,800	410	2.3%
第10段階	106,500	378	2.1%
計		17,987	100.0%

・保険料の収納状況

	H29	H28
収納率	99.92%	99.83%

・保険料の減免状況

人数	減免額
0	0円

・介護保険サービス利用者負担軽減事業

社会福祉法人による生活困窮者に対する軽減措置（利用者負担のうち1/4を軽減）

対象者数 73人 経費 1,704千円

・高齢者相談支援事業

区分	相談者数(人)	相談件数(件)
高齢者相談窓口	806	1,068

・地域包括支援センターの設置

（高齢者相談事業）

区分	みなみ包括		ひがし包括		きた包括		中島・恵み野包括		計	
	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数
高齢者(一般)	165	631	164	632	87	404	111	342	527	2,009
総合事業対象者	18	623	15	525	11	360	9	349	53	1,857
要支援者	265	3,065	321	3,403	176	2,411	228	2,963	990	11,842
要介護者	39	212	68	470	29	255	30	142	166	1,079
障がい者	2	18	3	16	0	0	0	0	5	34
その他	1	1	6	8	0	5	0	1	7	15
合計	490	4,550	577	5,054	303	3,435	378	3,797	1,748	16,836

・福祉サービスの推進

事業名	利用者数	年間利用（日・回）数
配食サービス事業	130人	22,888食
外出支援サービス事業	97人	2,285回
訪問理美容サービス事業	26人	85回
除雪サービス事業	509世帯	7,870回出動

・ひとり暮らし高齢者等対策事業の推進

- ・緊急通報システム端末機貸与事業 年度末設置台数325台（固定97台、携帯228台）
- ・訪問サービス事業 利用者数4人、配布した乳酸飲料173本

・家族介護支援事業の推進

事業名	実施概要
介護教室事業	開催回数1回 参加者数16人 介護教室
家族介護者交流事業	合同交流6回、参加者数44人、随時交流10回、参加者数64人
家族介護用品支給事業	利用者数 54人
介護支援専門員支援事業	利用件数 34件
成年後見制度利用支援事業	利用件数 0件 、市長申立 1人

●医療費の助成

・重度障害者医療費の助成 (P. 83~84)

(受給者数)

区分	身障者	3級外部	知的障がい者	精神障がい者	合計
29年度	1,109	311	202	13	1,635
28年度	1,100	330	203	10	1,643
比較	9	△19	△1	3	△8

(助成金額) 道補助対象分

区分	入院		入院外		合計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
29年度	1,672	43,140	22,838	69,305	24,510	112,445
28年度	1,558	37,934	22,219	67,600	23,777	105,534
比較	114	5,206	619	1,705	733	6,911

(助成金額) 市単独分

区分	入院		入院外		合計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
29年度	274	7,331	6,705	12,923	6,979	20,254
28年度	299	10,301	6,534	13,914	6,833	24,215
比較	△25	△2,970	171	△991	146	△3,961

(助成金額) 合計

区分	入院		入院外		合計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
29年度	1,946	50,471	29,543	82,228	31,489	132,699
28年度	1,857	48,235	28,753	81,514	30,610	129,749
比較	89	2,236	790	714	879	2,950

・子ども医療費の助成 (P. 90~91)

(受給者数)

区分	0~2歳児	3~6歳児	小学生	中学生	合計
29年度	1,374	2,086	414	37	3,911
28年度	1,405	2,101	444	54	4,004
比較	△31	△15	△30	△17	△93

(助成金額)

区 分	入院（未就学児）		入院外（未就学児）		入院（小学生）		入院（中学生）		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
29年度	525	18,522	62,615	78,766	59	2,070	17	1,190	63,216	100,548
うち道補助対象分	525	16,583	62,615	61,136	59	2,070	-	-	63,199	79,789
うち市単独分(一部)	98	1,939	27,942	17,630	-	-	-	-	28,040	19,569
うち市単独分(全部)	-	-	-	-	-	-	17	1,190	17	1,190
28年度	537	19,585	62,666	77,902	54	2,516	23	926	63,280	100,929
比 較	△ 12	△ 1,063	△ 51	864	5	△ 446	△ 6	264	△ 64	△ 381

(未熟児養育医療費助成)

区 分	実人数（人）			件数（件）			助成金額（千円）		
	医療	食事療養	計	医療	食事療養	計	医療費	食事療養費	計
29年度	10	10	20	24	19	43	2,267	241	2,508
28年度	15	15	30	39	32	71	3,360	458	3,818
比 較	△ 5	△ 5	△ 10	△ 15	△ 13	△ 28	△ 1,093	△ 217	△ 1,310

※平成25年度からの新規事業

・ひとり親家庭等医療費の助成（P.90）

(受給者数)

区 分	親	子	計
29年度	740	1,112	1,852
28年度	746	1,120	1,866
比 較	△ 6	△ 8	△ 14

(助成金額)

〔親〕 (道補助対象分) (市単独分)

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
29年度	64	3,801	8,899	18,597	8,963	22,398
28年度	75	3,577	9,104	20,002	9,179	23,579
比 較	△ 11	224	△ 205	△ 1,405	△ 216	△ 1,181

〔子〕 (道補助対象分) (市一部負担分含む)

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
29年度	37	2,084	11,049	16,816	11,086	18,900
28年度	52	2,544	10,667	16,173	10,719	18,717
比 較	△ 15	△ 460	382	643	367	183

〔合計〕

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
29年度	101	5,885	19,948	35,413	20,049	41,298
28年度	127	6,121	19,771	36,175	19,898	42,296
比 較	△ 26	△ 236	177	△ 762	151	△ 998

●国民健康保険・後期高齢者医療の状況

・国保健康保険

(加入状況)

区 分	世 帯 数		被 保 険 者 数	
	年平均	対市全世帯%	年平均	対市全人口%
29年度	8,666	26.37	13,374	19.26
28年度	8,987	27.72	14,121	20.41
比 較	△ 321	△ 1.35	△ 747	△ 1.15

(収支状況)

区 分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	差引 (千円)
29年度	7,881,881	8,114,498	△ 232,617
28年度	7,962,706	8,294,419	△ 331,713
比 較	△ 80,825	△ 179,921	99,096
増加率%	△ 1.02	△ 2.17	

(診療費の状況)

区 分	件 数	受診率%	費 用 額		
			金額 (千円)	1件当り (円)	1人当り (円)
29年度	142,989	1,069.16	4,448,647	31,112	332,634
28年度	146,653	1,038.55	4,513,275	30,775	319,614
比 較	△ 3,664	30.61	△ 64,628	337	13,020
増加率%	△ 2.50	2.95	△ 1.43	1.10	4.07

・後期高齢者医療

(加入状況)

区 分	被 保 険 者 数	
	年平均	対市全人口%
29年度	8,958	12.89
28年度	8,633	12.48
比 較	325	0.41

(収支状況)

区 分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	差引 (千円)
29年度	893,269	890,193	3,076
28年度	837,626	837,490	136
比 較	55,643	52,703	2,940
増加率%	6.64	6.29	

基本目標Ⅲ 希望と活力に満ちたまち

目標10 いきいきと働きやすいまち

地理的優位性等の強みを活かし、社会情勢や市民ニーズ(職種や就業形態)を踏まえた企業誘致を推進するとともに、「労働者が安心して就業し、働き続けることができる環境の整備」や「後継者を含む人材の育成を目的とした各種支援」等を行いました。

●企業誘致等の状況

平成23年10月で市有工業団地が完売しましたが、進出企業へは未操業用地や民間用地の仲介・斡旋の手法により企業誘致を進めた結果、民間企業所有地に9社(うち新規立地2社、市内移転拡張7社)の企業誘致が実現しました。

●多様な人材を活かせる労働環境の整備

・就職促進事業 (P.120)

4,000千円

働く意欲や能力のある求職者の就職支援のために、就職活動に関する基礎知識を習得するセミナーや職業相談を開催しました。

セミナー等を通して潜在的な労働力を発掘するとともに、合同企業就職説明会を通して市内企業の理解を深め職場への定着を図ったほか、求職者へ就職活動の機会を提供するなど、企業の求人業務の効率化を担いました。

(1) 個別職業相談事業

キャリアカウンセラーによる就職相談を9月から12月の間、月1回実施
相談回数11回、相談者9人、就職決定者1人

(2) 就職支援セミナー

女性向けセミナー 平成29年8月29日から平成29年9月1日
受講者16人、就職決定者6人
高校生向けセミナー 平成29年7月25日、26日
受講者44人、就職決定者34人

(3) 合同企業就職説明会

平成29年9月30日
参加企業数39社、参加者数72人、就職決定者22人

・求職・労働相談 (P.120)

1,793千円

雇用安定対策として、国・道及び関係機関の実施する職業安定事業と連携を密にしながら、求人情報の把握や進出企業に対する地元採用の要請を実施しました。

また、季節労働者の通年雇用化を図るため、通年雇用促進協議会において厚生労働省からの委託事業及び独自事業の通年雇用促進支援事業を実施しました。

地域職業相談室

年 度	ジョブガイド恵庭 (ミニハローワーク)					恵庭市相談室	
	来場者数	相談件数	新規求職者数	企業紹介件数	就職決定者数	窓口相談	電話相談
29年度	14,653	5,354	1,317	1,787	480	2	0
28年度	16,052	5,970	1,226	1,799	513	38	38
比 較	△ 1,399	△ 616	91	△ 12	△ 33	△ 36	△ 38

通年雇用促進支援事業の状況

事業名	受講者等		通年雇用化勤務決定者	
	計画	実績	計画	実績
①事業所向け労務管理講習事業	20人	32人	3人	4人
②事業所向け経営支援講習事業	50社	67社	6人	6人
③通年雇用普及啓発事業	550社	641社	14人	16人
④通年雇用化支援講習業務委託事業	15人	17人	2人	3人
⑤求人企業情報提供事業（企業ガイドブックWeb版掲載）	20社	17社	1人	0人
⑥パソコン研修事業	40人	33人	2人	2人
⑦建設技能資格取得業務委託事業	37人	40人	5人	6人
⑧施設管理技能資格取得業務委託事業	8人	3人	2人	0人
⑨医療・介護関連資格取得業務委託事業	21人	1人	3人	0人
⑩合同企業就職説明会事業	26人	51人	2人	1人
⑪季節労働者実態調査事業	1200人	452人	—	13人
⑫職場体験実習	25人	2人	2人	0人
⑬季節労働者資格取得支援事業	5人	6人	1人	0人
⑭登録季節労働者情報提供事業	820人	1584人	1人	2人
⑮建設業安全衛生・特別教育業務委託事業	11人	6人	1人	0人
合計	2,848件	2,952件	45人	53人
目標達成率	103.7%		117.8%	

・シルバー人材センター事業支援（P.119～120）

9,380千円

高齢者の生きがい対策として就労の場を確保するため、恵庭市シルバー人材センターへ支援を実施しました。

シルバー人材センターの事業状況

区分	公共事業（恵庭市分）		その他		合計	
	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)
29年度	410	77,409	3,200	166,434	3,610	243,843
28年度	425	78,731	3,403	173,388	3,828	252,119
比較	△15	△1,322	△203	△6,954	△218	△8,276

目標11 恵まれた土地を生かした農林業

農業の多様な担い手の育成や農地の集積、農業生産基盤の整備などにより、農業経営の強化に努めるとともに、安全・安心な農畜産物の生産体制の強化を図りました。

●生産基盤整備の充実

農地の効率的な利用と経営規模拡大を図り、土地基盤整備やかんがい排水施設の整備を実施したほか、環境保全に向けた先進的な営農活動を支援しました。

- ・排水路管理事業 (P. 125) 9, 339千円
排水路補修工事 (ルルマップ排水路、基線排水路、東2線排水路、東3線排水路、柏木川堤内排水路)、排水路閉塞緊急対応
- ・内水排除施設管理事業 (P. 125~126) 24, 729千円
排水機場管理事業 (北島、西4線、中島松、漁太、漁太川排水機場)
釜加地区内水排水機場管理費負担金 (南21号・南18号排水機場)
- ・国営かんがい排水事業 (P. 126) 12, 636千円
国営土地改良事業地元負担金 (道央地区)
- ・耕地高度化推進事業 (P. 126) 912千円
穂栄林田地区
- ・多面的機能支払交付金事業 (P. 126) 104, 951千円
農地維持支払交付金及び資源向上維持支払交付金
- ・道営農地整備 (経営体育成型) 事業 (P. 126) 71, 107千円
道営経営体基盤整備 (左岸島松、左岸北栄、漁川右岸)
- ・国営造成施設 (揚水機場) 管理事業費 (P. 126) 13, 390千円
基幹水利施設 (千歳川第2揚水機場) の管理

●経営の強化と担い手の育成・確保

関係機関と連携し技術研究や経営支援を行い、農業経営の改善と安定を進めました。

また、経営管理能力の向上などの体質強化を図るとともに、新規就農や女性の経営参画を支援し新たな担い手の確保と育成に努めました。

- ・農業後継者対策費 (P. 122) 6, 301千円
農業研修派遣事業
(青年農業者道外研修15名、女性農業者道内研修18名、女性農業者道外研修3名)
青年就農給付金助成
- ・農業者支援資金利子補給事業 (P. 122) 711千円
スーパーL資金、農業経営緊急支援資金に係る利子補給
- ・簡易耕土改良事業 (P. 122) 300千円
簡易耕土改良施工用作業機械借り上げ (4件 事業面積972a)
- ・強い農業づくり事業 (P. 123) 63, 837千円
融資主体型補助事業、追加的信用供与事業
- ・荒廃農地等利活用促進事業 (P. 123) 970千円
荒廃農地再生・営農定着に係る費用を助成
- ・環境保全型農業直接支払交付金事業 (P. 123) 4, 888千円
環境保全型農業への取り組み支援 (11件 対象面積7, 535a)

・アグリネット事業 (P. 123)

475千円

将来を担う子どもたちに農業と触れ合う機会を提供し、親子が共同で農作業を体験しながら食の大切さや農業への理解を深める場として、アグリネット事業を開催しました。

開催にあたっては、平成28年度から民間の新たな発想による事業展開を行い、平成29年度はきのこの植菌、田植えから稲刈り、メロンの収穫体験を実施し、地域間の交流を深めました。

参加者数	33人	(内訳 大人：14人 子ども：19人)
活動内容	4月30日	入園式・きのこ植菌体験
	5月28日	田植え体験
	6月25日	メロンの外皮模様付け・野菜の植付け体験
	8月6日	メロン・野菜の収穫、きのこ本伏せ体験
	10月1日	稲刈り・はさがけ体験
	10月22日	卒園式

●農商工等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進

・恵庭市農商工等連携推進ネットワーク (P. 132)

平成25年2月に市内の企業・団体が参画して「恵庭市農商工等連携推進ネットワーク」を設立し、農畜産物、花、自然等の地域資源を有効活用した新商品や新サービスの開発支援、販路開拓、市内外への情報発信など、地域の経済活性化の促進に取り組みました。

(1) 交流・連携事業

恵庭市農商工等連携推進ネットワークの会員交流と相互連携の促進を図るため、総会・交流会を開催しました。

総会	平成29年	7月12日	参加者36人
第1回交流会	平成30年	1月26日	参加者26人
第2回交流会	平成30年	3月1日	参加者11人(視察研修会)

(2) 広報・情報提供事業

ホームページを通じて活動周知、会員募集、開発商品のPRなど情報発信に努め、農商工連携関連情報等を会員にメール配信するなど、積極的な情報提供を行いました。

(3) 新商品・新サービス開発事業

恵庭市農商工等連携推進ネットワーク会員により、恵庭市の資源を活用した新商品や、友好都市である静岡県藤枝市との連携による新商品の開発・販売が行われました。(新商品数：37)

主な新商品 「恵みの庭のかぼちゃパイ」、「ハスカップ大福」
「抹茶入り玄米茶 共助のこころ」、「抹茶ショコラサブレ」など

・えにわん産業祭2017 (P. 132)

8,583千円

平成26年度までの「食農交流フェスタ」を発展させ、平成27年度からは市内の産業を幅広くPRする「えにわん産業祭」を開催、平成28年度からは会場の使用スペースを拡大し、出展ブースも増加した形で開催しています。平成29年度は産業祭に合わせて恵庭市と藤枝市事業者の連携商品開発を目的とした「マッチング商談会」を開催しました。市内の優れたものづくり企業の取り組み、農商工等連携の取り組みによって開発された加工品の展示・販売を通じて地域資源の豊かさや技術の高さを市内外にPRし、地域産業の活性化につなげました。

開催日	平成29年9月10日		
来場者数	約6,100名	出展ブース数	87(企業団体数は75)
マッチング商談会参加事業者数	恵庭市：12事業者	藤枝市	：11事業者

・地場製品のPR

当市製品のPR・販路拡大及び観光PR等を図るため、バイヤー向けイベント「イオン北海道合同見本市」、物産イベント「ハイウェイ Show Area」、友好都市である静岡県藤枝市のイベント「フードスマイルフェスティバルinふじえだ」に出展し、恵庭ブランドの周知に努めました。

目標12 暮らしを支える商業

地域に根ざした魅力ある商店街づくりを行うため、商工関係団体との連携による地元消費の喚起や地域の特性を生かすとともに、中小企業・小規模事業者の経営課題や新たな事業展開に対し、関係機関と連携し相談、助言を行うなど、支援体制を構築し、市内商業の活性化に努めました。

●商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援

・商店街活性化振興事業 (P. 128)

1, 291千円

消費者の市外流出に歯止めをかけ、高齢化社会に対応した商業形成を図るため、市内商店街・商店会が連携するとともに、地域住民の協力や理解を得るなど、地域に根ざした魅力ある商店街・商店会づくりに努めました。

- (1) 商店街の景観整備などによるイメージアップと魅力向上を図る事業を支援
- (2) 商店主達が地域のイベントを開催し、商店街の活性化を図る事業を支援
- (3) 飲食店街に活気や賑わいを創出するための事業を支援

・起業家支援事業 (P. 127)

4, 877千円

市内で新たに新店を出す事業者に対する新規出店支援補助金の交付、起業する際のさまざまな疑問や悩みを解消し事業を成功に導くノウハウを学ぶためのセミナーや専門家による個別相談会を開催しました

●市民をまきこんだにぎわいづくりの推進

・市民参加型・えにわ版マルシェ推進事業 (P. 130)

487千円

市民が主体となって、市内企業や商店、様々なサークル活動団体等の人と人とのつながりを大事に運営し、まちの賑わいを創出し、まちの活性化、地域振興につなげました。

1) 市内4イベントでの開催

- ① 恵庭・花とくらし展 (平成29年6月24日～25日)
- ② おんこ祭 (平成29年7月2日)
- ③ 紅葉バスめぐり (平成29年10月6日～9日)
- ④ えにわ犬ぞり大会 (平成30年2月3日～4日)

2) 道と川の駅花ロードえにわでの日替わり開催 (平成29年7月1日～9月30日の土日祝日)

(7月24日～28日、8月7日～10日の平日も開催)

3) 札幌駅前通地下広場 (チ・カ・ホ) での開催 (平成29年5月22日～23日)

目標13 来てみたいまち 住んでみたいまち

来てみたいまち住んでみたいまちをめざし、観光による来訪はもとより、花のまちや恵庭溪谷など魅力ある観光資源の情報発信の強化と新たなブランド戦略や、シティプロモーションの充実に努めました。

●魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出

恵庭市の観光資源である「恵庭溪谷」「花のまち」を活かした観光の取組みを推進するため、観光振興施策の展開を検討しました。

また、観光PRの強化や拠点の充実、新たな観光資源の創出に重点を置いて観光振興を図りました。

- ・ 恵庭市観光推進協議会の開催
 - 第1回：平成29年5月15日
 - 第2回：平成29年10月17日
- ・ 親子オープンガーデンツアー（平成29年8月6日）
- ・ 市職員・教職員向けオープンガーデンツアー（平成29年8月29日）
- ・ オープンガーデンイベント「恵みの庭めぐり」（平成29年9月8日、9日）
- ・ 恵庭市HP「花と観光」閲覧数 146,518件（前年度比178%）
- ・ 恵庭市公式観光WEBサイト「ENIWA EYE」の開設 閲覧数13,178件（12月～3月）

・ 市民参加型・えにわ版マルシェ推進事業（目標12に別掲）

・ ウェルカムフラワーロード活動の促進（P.130）

恵庭市への入口となる西島松北の国道36号及び美咲野・牧場の道々恵庭岳公園線沿いに花を植えて、市内へ来る人たちを歓迎する美化活動を実施しました。

・ 「花マップ」（30,000部 市内JR各駅、道の駅などで配布）（P.131）

・ 「花はな通信」（平成30年3月発行 市内全戸配布）（P.131）

・ 花と緑のまちづくり推進シンポジウム（P.131）

恵庭市が「花のまち」であることを再認識し、花のまちづくりの機運を高めることを目的に有識者、デザイナー等を招聘しシンポジウムを開催しました。

開催日 平成30年3月17日 参加者 約130人

・ 対恵庭直接投資継続拡大に係る推進事業（P.131） 26,739千円

最も訪日教育旅行者数の多い台湾をターゲットに、恵庭市の海外における訪日教育、修学旅行等の学生の受入れ促進及び拡大を図ったほか、「花のまちづくり」としての文化や生活、自然、産業の体験などにより恵庭市の豊かな地域資源・観光資源を取り込み、台湾観光客等のニーズに答え得るストーリー性、テーマ性のある旅行（観光）商品の開発に取り組みました。

- ・ 北海道恵庭市教育・観光交流商談セミナー
（参加者 市内企業等6団体、台湾企業等39社56人 商談件数60件）
- ・ 台湾華僑招聘事業（参加者 市内事業者8社、在日台湾華僑27人 商談件数54件）
- ・ 訪日教育・修学旅行者受入事業（受入者数20人、ホームステイ4件）
- ・ インターンシップ受入事業（受入者数9人）

・ ふるさと公園再整備事業（P.141） 2,576千円

- ・ 恵庭ふるさと公園基本計画委託業務
- ・ 恵庭ふるさと公園既存木調査委託業務

●移住・定住の促進

・移住促進事業 (P. 62~63)

5, 122千円

平成23年度に開設した「恵庭市移住・定住支援サイト」では新たに「不動産・住宅情報」を開設しサイト内の充実を図るとともに、道外で開催された移住イベントへ参加するなど恵庭市の知名度向上及び魅力の発信に努めました。

また、移住促進事業としての「オーダーメイドツアー」の実施、新たな移住促進体制に向けた勉強会の実施や移住者交流会の実施、さらには、空き家にしないためのマイホーム活用に関する住まいのセミナーを開催するなど市内の住宅の住み替えや住宅の流動化に向けた啓発活動に取り組みました。

- ・恵庭市移住・定住支援サイトへのアクセス件数：33,048件
- ・移住イベント相談者数：112組
- ・オーダーメイドツアー参加者数：11組（うち2組移住）
- ・恵庭住まいのセミナー参加者数：71人

●都市間交流の促進 (P. 69)

1, 015千円

・和木町との相互交流（花とくらし展）

平成29年6月24日～25日（来恵者3名）

・和木町「わき愛あいフェスティバル」に参加

開催日 平成29年10月29日（参加者3人）

・姉妹都市等交流促進補助金事業

651千円

第2回恵庭市長杯サッカー大会（来恵者20名） 40千円

第44回藤枝JC杯争奪少年少女サッカー大会（訪問者19名） 300千円

恵庭市農商工等連携広域ネットワーク事業 174千円

・藤枝市・恵庭市農商工連携広域ネットワーク設立セレモニー及びマッチング交流

・第4回フードスマイルフェスティバルinふじえだへの出展

平成29年度恵庭市交流都市芸術祭 29千円

平成29年度藤枝市・恵庭市体育協会交流事業（訪問者6名） 108千円

基本目標Ⅳ 人が育ち文化育むまち

目標14 地域で育む子育て環境

子どもの居場所づくりに向け、子どもの集う場所の整備や、民間施設を含めた保育環境の確保、ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進に努めました。

●子どもの居場所づくりとして計画的な子どもひろば、子育て支援センター、学童クラブの整備(P. 89～91・95～100)

子育てについての家庭対策や相談・指導などの各種支援に努めました。更に、児童が健やかに育つ環境づくりのために、子育て支援センター事業や児童館事業、学童クラブ事業等を実施し、地域における子育て支援機能の充実を図りました。また、児童手当、児童扶養手当等の各種手当を支給し、家庭の生活の安定を図りました。

・子育て支援センター事業の充実 (相談件数・利用者数)

相談項目	件数	年齢等	利用者数
しつけ(基本的な生活習慣)	95	保護者	17,380
発達(言語、情緒、身体)	105	0歳	3,971
子どもの対人関係	28	1歳	6,702
親子・家庭関係	64	2歳	4,793
問合せ	506	3歳以上	5,007
合計	798	合計	37,853

※相談件数・利用者数は、柏陽・恵み野・島松・黄金・みんな、柏の各支援センターの合計

・児童館・子どもひろば利用状況(平成30年3月31日現在)

区分	就学前児童	小学生	中学生	高校生	その他	合計	
29年度	恵庭児童館	121	7,425	576	709	1,000	9,831
	黄金子どもひろば	959	14,821	975	50	1,297	18,102
	島松子どもひろば	346	6,083	1,165	82	803	8,479
	恵み野子どもひろば	7,021				3,606	10,627
	若草っこひろば	-	2,979	-	-	-	2,979
	柏子どもひろば	730	7,956	936	66	835	10,523
	合計						60,541
28年度	恵庭児童館	179	5,837	985	477	1,002	8,480
	黄金子どもひろば	1,465	13,008	1,035	73	1,743	17,324
	島松子どもひろば	407	5,931	842	229	675	8,084
	恵み野子どもひろば	8,600				4,254	12,854
	若草っこひろば	-	2,072	-	-	-	2,072
	柏子どもひろば	877	4,833	495	6	1,011	7,222
	合計						56,036
比較	恵庭児童館	△ 58	1,588	△ 409	232	△ 2	1,351
	黄金子どもひろば	△ 506	1,813	△ 60	△ 23	△ 446	778
	島松子どもひろば	△ 61	152	323	△ 147	128	395
	恵み野子どもひろば	△ 1,579				△ 648	△ 2,227
	若草っこひろば	-	907	-	-	-	907
	柏子どもひろば	△ 147	3,123	441	60	△ 176	3,301
	合計						4,505

・学童クラブ事業 受入状況（月平均）

区分	小学校1年生	小学校2年生	小学校3年生	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	障害児	合計
29年度	178	157	131	77	15	6	10	574
28年度	178	167	123	53	11	2	10	544
比較	0	△ 10	8	24	4	4	0	30

・ファミリーサポートセンター会員数／援助活動件数

依頼会員 762人、協力会員 137人、両方会員 80人、合計 979人

援助内容	件数
保育所・幼稚園への送迎、預かり等	172
学童保育の送迎、預かり等	9
保護者等の外出、病気、急用時の場合の援助	109
保護者等の短時間・臨時就労等による預かり等	31
子どもの病気、習い事等の場合の援助	219
その他	2
合計	542

・親子の居場所づくり事業の充実（みんなの広場事業 相談件数・利用者数）

相談項目	件数	年齢等	利用人員
しつけ（基本的な生活習慣）	10	保護者	2,347
発達（言語、情緒、身体）	0	0歳	388
子どもの対人関係	0	1歳	1,099
親子・家庭関係	0	2歳	816
問合せ	30	3歳以上	457
合計	40	合計	5,107

・児童手当

区分		第1子		第2子		第3子以降		合計	
		総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)
29年度	3歳未満	5,548	83,220	4,787	71,805	2,144	32,160	12,479	187,185
	3歳以上	23,247	232,470	16,836	168,360	6,272	94,080	46,355	494,910
	中学生	10,187	101,870	5,091	50,910	455	4,550	15,733	157,330
	特例給付	970	4,850	940	4,700	428	2,140	2,338	11,690
	小計	39,952	422,410	27,654	295,775	9,299	132,930	76,905	851,115
28年度	3歳未満	5,864	87,960	4,817	72,255	2,272	34,080	12,953	194,295
	3歳以上	23,268	232,680	16,839	168,390	6,079	91,185	46,186	492,255
	中学生	10,303	103,030	5,251	52,510	464	4,640	16,018	160,180
	特例給付	985	4,925	837	4,185	413	2,065	2,235	11,175
	小計	40,420	428,595	27,744	297,340	9,228	131,970	77,392	857,905
比較		△ 468	△ 6,185	△ 90	△ 1,565	71	960	△ 487	△ 6,790

※ 3歳未満・3歳以上小学校修了前（第3子）は月額15,000円

※ 3歳以上小学校修了前（第1・第2子）・中学生は月額10,000円

・児童扶養手当

区分	全部支給	一部支給	全額支給停止	合計（人）	金額（千円）
29年度	319	330	60	709	315,946
28年度	334	302	70	706	311,206
比較	△ 15	28	△ 10	3	4,740

・遺児手当

区 分	就学児(15,000円/年)		未就学児(12,000円/年)		合 計	
	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)
29年度	23	331	3	31	26	362
28年度	24	350	1	2	25	352
比 較	△ 1	△ 19	2	29	1	10

・施設入所面会旅費助成事業

区 分	申請世帯	金額(千円)
29年度	7	234
28年度	6	255
比 較	1	△ 21

・入院助産措置状況

区 分	措置人員	金額(千円)
29年度	3	1,242
28年度	3	1,448
比 較	0	△ 206

・子育て支援短期利用事業・夜間養護等事業

区 分	短期利用事業			夜間養護等事業(29年度より実施)		
	児童数	日数(日)	金額(千円)	児童数	日数(日)	金額(千円)
29年度	1	2	9	0	0	0
28年度	3	53	280			
比 較	△ 2	△ 51	△ 271	0	0	0

・子ども相談事業の推進

(実件数)

項 目	養護相談		保健相談	障がい相談						非行相談	
	児童虐待	その他		肢体不自由	障が視 が聴い 覚	障が言 が語い 等達	障が重 が症心 い身	知的障 がいが	発達障 がいが	ぐ犯行 為為等	触法行 為為等
29年度	71	123	4	1	0	0	6	52	34	1	1
28年度	77	137	0	1	0	1	8	48	44	0	1
比 較	△ 6	△ 14	4	0	0	△ 1	△ 2	4	△ 10	1	0

項 目	育成相談				その他の 相談	合 計
	性格行 動	不登校	適性	し育児 つけ・		
29年度	18	0	0	0	17	328
28年度	3	5	0	0	20	345
比 較	15	△ 5	0	0	△ 3	△ 17

・児童虐待の防止と体制の強化

恵庭市要保護児童ネットワーク協議会

代表者会議 1回 実務者会議 3回 個別ケース検討会議 35回 講演会 1回

・ひとり親家庭相談の実施

項目	生活一般								児童				
	住宅	医療・健康	家庭紛争	就労	結婚	養育費	借金	その他	養育	教育	非行	就職	その他
29年度	2	15	68	49	14	5	2	353	64	32	1	0	27
28年度	14	18	27	112	13	2	0	380	27	42	0	1	17
比較	△ 12	△ 3	41	△ 63	1	3	2	△ 27	37	△ 10	1	△ 1	10

項目	経済的支援・生活援助							その他					合計
	母子福祉資金	寡婦福祉資金	公的年金	児童扶養手当	生活保護	税	その他	売店設置	たばこ販売	母子家庭向 公営住宅	母子福祉施設 の利用	母子生活 支援施設	
29年度	296	7	3	310	4	5	63	0	0	0	0	0	1,320
28年度	297	17	0	364	6	17	117	0	0	0	0	0	1,471
比較	△ 1	△ 10	3	△ 54	△ 2	△ 12	△ 54	0	0	0	0	0	△ 151

・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業

区分	パソコン講座	ホームヘルパー	医療事務	介護技術	その他	合計
29年度	0	0	0	1	0	1
28年度	0	0	0	1	0	1
比較	0	0	0	0	0	0

・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付事業

区分	理学療法士	作業療法士	保育士	准看護師	看護師	その他	修了支援給付金	合計
29年度	0	0	0	0	1	1	2	4
28年度	0	0	1	2	2	1	0	6
比較	0	0	△ 1	△ 2	△ 1	0	2	△ 2

・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業（29年度より実施）

区分	利用者数	金額（千円）
29年度	0	0

・ひとり親家庭等日常生活支援事業

区分	利用者数	利用回数	利用時間	金額（千円）
29年度	1	3	6	10
28年度	3	32	36	66
比較	△ 2	△ 29	△ 30	△ 56

・恵庭市子どもの生活・学習支援事業実施状況

区分	延利用者数（人）	開設日数（日）
恵庭地区	255	47
柏地区	279	43
若草地区	319	55
合計	853	-

●民間施設を含めた保育環境の確保(P. 93～95)

ライフスタイルや就労形態の多様化に伴い、子育て支援事業の充実を図るため、保育所では定員変更により、市全体でニーズの高い3歳未満児の定員を22名増やして773名を受け入れたほか、一時保育事業の拡大、延長保育事業や休日保育事業、地域交流保育事業を実施し、仕事と育児を両立させ安心して働ける環境を整備するなど、保育サービスの向上を図りました。

・保育所入所児童数 (平成30年3月31日現在)

区 分	年 齢 別 の 入 所 児 童 数						
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
すずらん保育園	10	13	13	14	12	12	74
島松いちい保育園	15	19	22	14	10	14	94
さくら保育園	12	18	15	14	11	14	84
こすもす保育園	14	20	17	14	16	14	95
すみれ保育園	9	20	17	17	18	17	98
恵み野保育園	6	15	18	7	6	4	56
ひまわり保育園	6	15	13	8	2	3	47
えほんの森	9	15	15	12	12	9	72
幼稚舎えるむ	12	18	13	7	9	8	67
えにわスマイル保育園	6	11	10	10	5	5	47
かしわ幼稚園・保育園	6	10	11	8	1	3	39
合 計	105	174	164	125	102	103	773
うち、他市町村からの広域受入	1	4	2	4	2	5	18
他市町村への広域入所	0	0	2	1	2	0	5

※保育園から認定こども園へ移行「認定こども園さくら保育園」(平成29年4月より)

・地域交流保育事業

実施時期 : 平成29年6月～平成30年2月(月1回)

実施時間 : 9時45分～11時00分(1時間15分)

対 象 児 : 平成29年4月1日現在 生後6ヶ月以上～就学前児まで(各園共通)親子で参加

区 分	組 数	人 数
すずらん保育園	14	29
島松いちい保育園	11	22
さくら保育園	27	59
こすもす保育園	52	64
すみれ保育園	38	87
恵み野保育園	41	83
ひまわり保育園	285	570
えほんの森	52	104
幼稚舎えるむ	50	92
かしわ幼稚園・保育園	96	192
えにわスマイル保育園	12	6
合 計	678	1,308

・休日保育事業

定 員 : 10名程度

開設時間 : 8時～18時

区 分	実人員	延人員	利用日数
こすもす保育園	8	147	61
合 計	8	147	61

・一時保育事業

対象児：1歳～就学前児

定員：8名

保育時間：7時15分～18時15分

区分	実人員	延人員	利用日数
すみれ保育園	85	871	266
島松いちい保育園	49	572	261
こすもす保育園	73	1,568	287
えほんの森	31	280	101
合計	238	3,291	915

・延長保育事業

保育時間18時15分～19時15分

区分	実人員	延人員	利用日数
すずらん保育園	39	440	210
島松いちい保育園	59	1,204	260
さくら保育園	46	1,575	285
こすもす保育園	60	1,039	247
すみれ保育園	60	1,058	261
恵み野保育園	21	445	188
ひまわり保育園	13	119	31
えほんの森	31	582	215
幼稚舎えるむ	41	642	272
えにわスマイル保育園	34	929	229
かしわ幼稚園・保育園	15	523	63
合計	419	8,556	2,261

・保育園物置設置工事（2園） 1,825千円

●ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進(P.160)

少子高齢化、地域の関係性の希薄化など、家族のあり方や地域社会の結びつきが変化し、様々な年代との関わりを体験することなく子どもや若者が育つ時代の中、人間関係構築のために大切なコミュニケーション力を形成するため、家庭や学校、地域などで、子どもや保護者等がコミュニケーション力を育むことを目的とした事業の推進を図りました。

・教職員等対象 ヒューマン・コミュニケーション講座

実施日：平成29年8月2日、平成29年8月3日

会場：恵庭市民会館 中ホール

対象：市内小中学校教職員 幼稚園・保育園・認定こども園教職員 行政職員63名

・えにわ赤ちゃん登校日

実施日：平成29年7月11日、平成29年7月12日、平成29年7月13日、
平成29年9月20日、平成29年9月21日、平成29年10月17日、

実施日：平成29年10月18日

会場：柏陽中学校 体育館

対象：柏陽中学校3年生 81人 赤ちゃん親子40組

・児童生徒 ヒューマン・コミュニケーション講座

実施日：恵北中学校 平成29年7月12日、平成29年7月13日

実施日：若草小学校 平成29年9月20日、平成29年9月21日

実施日：恵み野中学校 平成29年10月17日、平成29年10月18日

会場：各学校 体育館

対象：恵北中学校1・2年生 133人 若草小学校5年生 99人

対象：恵み野中学校1・2年生 229人

・市民等対象 ヒューマン・コミュニケーション講座

実施日：平成29年8月2日、平成29年8月3日

会場：恵庭市民会館 中会議室

対象：市民 行政職員40人

目標15 心豊かな思いやりをもった子どもの育成

心豊かな子どもの育成のため、地域住民や市民団体等を主体として、生活体験や自然体験、社会体験の機会の充実や、地域活動機会の充実、読書習慣の形成等による青少年の育成を図るとともに、指導者の育成や指導者間の連携充実を図りました。

●体験型事業の推進

社会が急速に変化する中で、市民一人ひとりが社会の変化に柔軟に対応し、自分にとって生きがいやうらおいのある学習ができるよう、幼児期から高齢期まで人生の各期に応じた学習機会の提供と充実に努めました。

・コミュニティスクール事業 (P. 164～165)

- ・ 恵み野小学校区 7事業、活動日数 13日、参加者数 延601人
- ・ 島松小学校区 8事業、活動日数 19日、参加者数 延895人

・通学合宿事業

・通学合宿支援

実施地区	宿泊日数	参加人員	実施場所
恵み野通学合宿	2泊3日	12	恵み野憩の家
柏地区通学合宿	5泊6日	24	柏木中央会館
島松通学合宿	2泊3日	23	島松憩の家
若草地区通学合宿	3泊4日	24	柏陽憩の家
恵庭地区通学合宿	3泊4日	35	恵庭小学校

・市民講座・公民館サークル活動の充実 (P. 172)

(単位：講座、人)

講座事業名	事業数	受講者数
市民講座	18	351
I T講習会	12	55
日曜趣味講座	3	24
暮らしの講座	1	20

(単位：日、人)

教室事業名	講座数	受講者数
親子ふれあい教室	3	40
みんなで楽しむ ピアノコンサート	2	180

・子ども塾 (P. 167～168)

延事業回数 11回、延実施日数 14日、延参加者数 279人

・青少年研修センター利用状況 (P. 167)

(単位：日、人)

区分	開設日数	延利用人数	日平均利用人数
29年度	327	8,962	27
28年度	333	9,863	29
比較	△ 6	△ 901	△ 2

●読書活動による青少年の育成

ブックスタートで本と出合った乳児が成長するにしたい、幼稚園や小中学校などの読書活動を通して豊かな心や自ら学ぶ力を育てながら読書習慣を形成するため、総合的・体系的に読書環境を整備し、児童生徒の読書意欲の高まりや自主的な調べる力の習得などの推進を図りました。

・ブックスタート事業 (P. 173)

(ブックスタートパックを9～10ヵ月児健診を受診する親子に配布)

・対象乳児：477人、配布パック数：453個

・ブックスタートプラス事業 (P. 173)

(絵本とガイドブックを1歳6ヵ月児健診を受診する親子に配布)

・対象乳児：514人、配布パック数：514個

・私立幼稚園等図書環境整備支援 (P. 173)

・私立幼稚園及び認可外保育施設 11施設 415千円

・読み聞かせ活動の推進 (P. 173)

(おはなし広場開催状況) (単位：回、人)

区分	開催回数	参加者数	1回平均参加者数
本館	91	781	8.6
恵庭	25	76	3.0
島松	22	58	2.6
計	138	915	6.6

・家読推進及び講演会事業

・「子どものころに本を読むこと」 参加者49名

・小・中学生調べる学習コンクール

・参加児童生徒 494人 (小学校211人、中学校283人)

・作品点数 443点 (小学校210点、中学校233点)

・小・中学校学校司書の配置 (P. 155・159)

・市内13小中学校に各1名配置 (和光小 2名)

・小・中学校の図書の充実 (P. 155・159)

1) 小学校学校図書館の現況 (単位：冊)

	29年度	28年度	増減
貸出冊数	261,691	294,278	△ 32,587
一人当貸出数	68.2	76.9	△ 8.7
蔵書冊数	81,973	82,062	△ 89
一人当蔵書数	21.4	21.4	0.0

2) 中学校学校図書館の現況 (単位：冊)

	29年度	28年度	増減
貸出冊数	45,313	50,951	△ 5,638
一人当貸出数	22.8	25.1	△ 2.3
蔵書冊数	61,574	61,668	△ 94
一人当蔵書数	31.0	30.4	0.6

目標16 子どもの自立成長を促す学校教育

「自ら課題を見出し解決する力」「社会、自然等とともに生きる力」「生涯にわたって学び続ける力」を身に付け、自立心のある子どもたちの育成をめざすため、児童生徒一人ひとりの学習を活性化させる協働学習の環境整備を図り、一人ひとりのニーズに沿った環境整備に努めました。

●ふるさと教育の推進

・特色ある学校づくり (P.149)

(教育振興推進交付金事業内容)

(単位：千円)

学 校 名	事 業 内 訳	事業費 (補助額)
恵庭小学校	花いっぱい運動、鮭飼育学習、児童の登下校時の安全対策、総合学習、学校支援地域本部事業、集会活動、マナーキッズ教室	583 (433)
島松小学校	花いっぱい運動、鮭飼育学習、集会活動、地域素材を生かす教育活動、総合学習、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	442 (442)
柏小学校	花いっぱい運動、鮭飼育学習、ふれあい広場、中庭利用の体験活動、読書環境整備、交通安全意識啓発運動、総合学習、いじめ・不登校対策研究図書、学校支援地域本部事業、野菜作り、学校運営協議会、学校課題研究発表	452 (452)
和光小学校	花いっぱい運動、鮭飼育学習、集会活動、わ・和・輪スクール、学校支援地域本部事業、総合学習、学校課題研究発表	674 (674)
松恵小学校	学校農園活動、学校花壇活動、体力づくり運動、基礎学力定着の推進、国際理解教育の推進、総合学習、鮭飼育学習、集団づくり、学校支援地域本部事業	227 (227)
若草小学校	総合学習、児童会活動、鮭飼育学習、学校花壇整備、学校支援地域本部事業、若草ふれあいスクール、学校力向上総合実践事業	368 (368)
恵み野小学校	花いっぱい運動、鮭飼育学習、恵み野小まつり、校舎内外の教育環境の整備充実、総合学習、学校支援地域本部事業	233 (233)
恵み野旭小学校	児童会活動、鮭飼育学習、環境整備作業、基礎学力向上、総合学習、ICT活用、学校課題研究発表、学校支援地域本部事業	294 (294)
恵庭中学校	吹奏楽演奏活動、楽器購入、総合学習、鮭稚魚飼育・ふるさと教育、PTAや町内会と連携した花づくり、学校支援地域本部事業、生徒会活動の充実、学校課題研究発表、手作り木工教室	893 (893)
恵北中学校	生徒会活動、花いっぱい運動、鮭稚魚飼育、総合学習、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表、地域行事参加・文化祭活動、交通安全旗・看板製作、手作り木工教室	335 (335)
恵明中学校	総合学習、鮭稚魚飼育、花壇整備の活動、生徒会活動の充実、地域住民・保護者・生徒の交流事業、吹奏楽部の充実・楽器整備、学校課題研究発表、学校支援地域本部事業	803 (803)
柏陽中学校	学校花壇及びフラワーロード整備活動、鮭稚魚飼育、自主的生徒活動の推進、総合学習、学校支援地域本部事業	332 (332)
恵み野中学校	学校緑化推進・環境美化奉仕活動、鮭稚魚飼育、生徒会活動、情報教育の推進、中庭整備、総合学習、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	509 (509)
合	計	6,145 (5,995)

●教育環境の整備促進

・幼稚園・認定こども園

(平成30年3月1日現在)

区 分	年齢別の入所児童数			
	3歳	4歳	5歳	合 計
恵庭幼稚園	70人	70人	72人	212人
島松幼稚園	37人	29人	25人	91人
クラーク幼稚園	104人	75人	85人	264人
第二かしわ幼稚園	83人	71人	88人	242人
恵み野第二幼稚園	50人	45人	42人	137人
恵み野幼稚園保育園	41人	39人	36人	116人
柏学園ひまわり幼稚園保育園	73人	60人	73人	206人
さくら保育園	11人	3人	4人	18人
えほんの森	8人	7人	4人	19人
幼稚舎えるむ	9人	4人	5人	18人
えにわスマイル保育園	2人	3人	1人	6人
かしわ幼稚園保育園	54人	41人	47人	142人
合 計	542人	447人	482人	1,471人

・特別支援教育の推進 (P. 150～152)

障がいのある児童生徒に対し、個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を推進するため、支援体制の整備等を行いました。

1) 学校の支援体制

- ・校内支援委員会 ～ 全小中学校13校に設置
- ・特別支援教育コーディネーター ～ 13校に24名を指名

2) 巡回相談体制

- ・特別支援教育推進委員会 専門委員
(専門委員4名)

3) 学校補助員配置状況

(単位：校、人)

区 分	配置校	補助員数	勤務内容	対 象
小学校	8	15	1日4時間、週5日間、 年間35週間	通常学級在籍で特別の支援を必要としている児童生徒
中学校	5	5		

4) 特別支援学級補助員配置状況

(単位：校、人)

区 分	配置校	補助員数	勤務内容	対 象
小学校	6	11	週29時間勤務	特別支援学級在籍で介助を必要としている児童生徒
中学校	4	4		

5) 特別支援教育の振興 (就学先決定状況)

(単位：校、学級、人)

区 分	特別支援 学校	特別支援学級						言語 通級 学級	発達 通級 学級	合 計
		情緒	知的	肢体	難聴	病弱	計			
新入学児童	0	10	3	0	0	1	14	0	0	14
小学校在学	0	6	7	0	0	0	13	9	5	27
新入学生徒	1	7	8	0	0	0	15			16
中学校在学	0	3	1	0	0	0	4			4
計	1	26	19	0	0	1	46	9	5	61

・児童生徒の相談体制の充実 (P. 149～150)

全小中学校児童生徒を対象としたいじめや不登校等様々な問題への対応と未然防止のために、相談体制の充実を図りました。

1) 非行少年の状況

(単位：人)

区分	29年度			28年度			比較		
	不良行為	触法行為	計	不良行為	触法行為	計	不良行為	触法行為	計
小学生	(2) 17	(2) 4	(4) 21	(0) 18	(4) 10	(4) 28	(2) △ 1	(△2) △ 6	(0) △ 7
中学生	(6) 44	(0) 3	(6) 47	(5) 34	(0) 0	(5) 34	(1) 10	(0) 3	(1) 13
高校生	(0) 4	(1) 2	(1) 6	(4) 14	(0) 1	(4) 15	(△4) △ 10	(1) 1	(△3) △ 9
有職無職青年	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
その他学生	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
合計	(8) 65	(3) 9	(11) 74	(9) 66	(4) 11	(13) 77	(△1) △ 1	(△1) △ 2	(△2) △ 3

* () 内は女子数

2) 電話相談件数

相談件数 17件 (前年度比-1件)

3) スクールカウンセラー活用調査事業

・スクールカウンセラーの配置 (6名)

拠点校：13校 (市内全小中学校)

勤務時間数：中学校707時間 (内、北海道スクールカウンセラー派遣事業：560時間)

小学校742時間、市民会館での教育相談17時間

相談内容別相談件数

(単位：件)

相談内容	いじめ	不登校	人間関係	家庭環境	その他	合計
相談件数	0	261	64	200	974	1,499

相談者別相談件数

(単位：件)

相談者	児童生徒	保護者	教職員	その他	合計
相談件数	175	341	455	528	1,499

4) 不登校児童生徒の適応指導教室

・指導員の配置 専任3名

・通室状況 小学生2人・中学生34人通室

・学校復帰 完全復帰3人、不定期登校・別室登校15人

5) メンタルフレンド事業

・不登校対策として、学生等ボランティアとスクールカウンセラーが、ひきこもり等の児童生徒の自主性、社会性の向上を援助する事業。

ボランティア登録者数 (北海道文教大学の学生)

19名 (女性14名、男性5名)

派遣実績：中学生2件…メンタルフレンド2名派遣

6) なかよしさわやかDAY全市交流会

- ・「いじめをなくすためにみんなでできること」をテーマに、市内小中学校の代表者が一堂に会し、グループ協議、発表を行いました。

平成29年7月20日 参加者107人（うち小学生40人、中学生21人）

・小・中学校環境整備事業（P.157～158・162～163）

・ 恵庭小学校講堂防音機能復旧事業	853千円
・ 柏小学校校舎・講堂防音機能復旧事業	62,785千円
・ 若草小学校校舎防音機能復旧事業	1,069千円
・ 和光小学校家庭科室換気設備設置事業	4,298千円
・ 松恵小学校体育館屋根改修事業	10,930千円
・ 恵み野小学校トイレ改修事業	61,085千円
・ 恵み野旭小学校トイレ改修事業	68,396千円
・ 恵明中学校校舎防音機能復旧事業	43,913千円
・ 恵明中学校職員室拡張事業	3,553千円
・ 柏陽中学校屋上防水改修事業	18,328千円
・ 恵み野中学校トイレ改修事業	3,510千円
・ 柏陽中学校トイレ改修事業	40,815千円

・ ICT教育環境整備事業（P.155・159） **46,546千円**

恵庭小学校、恵庭中学校、柏陽中学校に電子黒板を整備（55台）

・ 教育用コンピューター機器整備事業（P.155） **26,378千円**

島松小学校、和光小学校の教育用パソコンのタブレット化（82台）

・ 学校における食農教育の推進（P.153～154）

一般財団法人恵庭市学校給食協会に業務委託し、市内13小・中学校の完全給食を実施しました。
また、栄養教諭の授業による食育の推進、家庭への「給食だより」配布や給食協会や市のホームページへの給食献立・食育情報の掲載により、市民へ食育情報を発信し、食育の啓蒙を実施しました。

1) 小学校給食

- ・ センター稼働日数 203日、実施学校 市内8小学校

<実施状況> (単位：回、食)

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	食数	775,753
実施回数	183 ～190	188 ～196	189 ～196	189 ～196	187 ～194	183 ～191		

2) 中学校給食

- ・ センター稼働日数 197日
- ・ 実施学校 市内5中学校

<実施状況>

学年	1年生	2年生	3年生	食数	399,889
実施回数	190 ～195	188 ～191	175 ～181		

3) その他

- ・ 給食だより発行：毎月発行4月～3月（12ヵ月）
- ・ 協会ホームページへの掲載：毎月の給食献立及び食育情報
- ・ 市ホームページへの掲載：主要な食材の産地等情報

目標17 手を取り合い創造性を育む文化芸術

世代を超え、誰もが文化芸術活動に気軽に参加できるようなコミュニティづくりを図り、活動がつながり、支えあう仕組みづくりと全市民が一体となった文化芸術の振興を行うため、学校・社会教育施設と文化芸術活動団体等との連携や、文化芸術の担い手やボランティアの育成に努めました。

●公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進

身近な施設を活用した地域コミュニティ活動や青少年の育成のための体験や学習、遊びの機会拡充など、市民の幅広い学習活動が展開できる環境整備に努めました。

・地区会館改修事業 (P. 171)

・ 恵み野会館屋上防水改修工事 7, 830千円

・大町会館防音機能復旧事業 (P. 171)

・ 老朽化したボイラー等の機能復旧 14, 980千円

・市民会館設備改修事業 (P. 171)

・ 市民会館大ホールの吊物設備改修 29, 473千円

・図書資料の充実 (P. 173)

1)蔵書冊数の現況 (単位：冊)

区分	一般書	児童書	小計	雑誌	合計
本館	171,303	41,883	213,186	10,766	223,952
恵庭	31,833	16,363	48,196	948	49,144
島松	25,263	10,116	35,379	692	36,071
計	228,399	68,362	296,761	12,406	309,167

2)貸出状況 (単位：冊)

区分	利用者数	一般書	児童書※	雑誌	計	開館日数	一日平均
本館	117,395	287,073	152,166	30,312	469,551	297	1,581.0
恵庭	27,195	69,110	44,167	4,462	117,739	286	411.7
島松	13,553	35,934	17,624	2,306	55,864	299	186.8
黄金	2,090	2,171	872	312	3,355	335	10.0
かしわ	1,360	1,831	993	93	2,917	336	8.7
北高	71	195	44	1	240	-	-
南高※1	17	37	0	0	37	-	-
計	161,681	396,351	215,866	37,486	649,703	-	2,198.2

※絵本、紙芝居は児童書に含む

※1恵庭南高ブックライン (9月23日開設)

3)団体貸出状況 (単位：冊)

区分	登録団体数	利用団体数	貸出冊数
本館	377	101	15,451
恵庭			1,335
島松			1,344
計			18,130

4)レファレンス(資料相談)状況

区分	件数	(単位：件)
本館	19,392	
恵庭	8,162	
島松	5,774	
計	33,328	

5) 予約リクエストサービスの状況

(単位：冊)

区分	所蔵資料 の受付件 数	未 所 蔵									計
		購入	道立	札幌	道内他館	道外	国立国会	大学図書館	提供不可	小中学校	
本館	5,305	448	159	163	261	42	6	1	0	0	1,080
恵庭	4,389	247	57	23	67	0	3	1	0	0	398
島松	3,655	257	14	12	17	0	0	0	0	0	300
計	13,349	952	230	198	345	42	9	2	0	0	1,778

6) インターネット予約サービス

・受付件数：23,089件

・市内配本サービスの充実

配本車による図書館と学校間の全域利用状況

- ・学校への貸出冊数 11,388冊
- ・学校間の貸出冊数 3,542冊

・長寿大学の推進

生涯学習社会にふさわしい学習機会を提供し、生きがいづくりと健康で楽しい生活を送られるよう長寿大学を実施しました。

・授業日数 20日 ・学生総数 224人

・えにわ学講座の推進

多様なジャンルから総合的に学び、ふるさとの魅力を発見し、豊かな文化の継承と住みよいまちづくりを進める学び場としてえにわ学講座を開催しました。

・開催日数 2日 ・参加者数 45人

・リカレント公開講座の推進

大学で開催される市民向け講座を受講する高齢者に対して長寿大学の単位を認定するなど、市民の生涯学習意欲の向上を図りました。

(文教大学公開講座)

・17講座 698人受講

(近畿大学公開講座)

・4講座 122人受講

・家庭教育振興事業

学齢期・思春期の子どもと親との関わり方や家庭教育について考える機会を提供し、家庭内教育力の向上を図りました。

・家庭教育セミナー 平成29年10月15日 参加者数 50組150人

・女性教育振興事業

女性の積極的社会参加や市民活動への関心を深め、女性による活発な活動によって地域活性化を図るためセミナー等を開催しました。

- ・女性団体活動者研修会 平成29年11月 1日 参加者数 43人
- ・女性人材育成セミナー 平成30年 3月23日 参加者数 23人
- 平成30年 3月30日 参加者数 20人

・夢創館の活用 (P. 165)

夢創館の活性化を図るため、市主催事業をはじめ各文化団体と連携し事業を実施しました。

開館日数	359日	利用団体数	224団体
利用人数	11,158人	利用日数	207日

- ・指定管理者
開催文化事業
ヴァイオリン&三味線コンサート (参加者50人)
オーロラが私たちに語りかけるすてきなメッセージ (参加者74人)
岸田典大ミュージカル風読み聞かせ?読み聞かせ風ミュージカル
(参加者70人)
- ・連携等事業
おもしろ理科実験教室 (参加者49人)
小中学校書写展 (参加者1,373人)
夢創館コンサートIV (参加者130人)
三匹のこぶたちちゃん平成道産子恵庭落語会 (参加者170人)

・郷土芸能団体の育成 (P. 164)

郷土芸能団体を育成し活動を安定的なものにするため支援しました。

- ・恵庭すずらん踊り保存会事業補助金 145千円
- ・恵庭岳太鼓保存会補助金 121千円

・史跡カリンバ遺跡の整備

カリンバ遺跡について、今後の史跡整備と土中に埋蔵されている漆製品等の保護等に役立てるため、水文環境調査・分析を行いました。また、史跡保護等の啓発を目的に花壇の整備や講演会、体験学習等のイベントを開催しました。

・市内遺跡の発掘調査等 (P. 170)

4,058千円

- ・発掘調査等

遺跡名	発掘等原因	面積	時代	出土遺物
ユカンボシE11遺跡外7遺跡	個人住宅建設等	227㎡	縄文・アイヌ文化	約3700点

・郷土資料館の運営・事業 (P. 168~169)

- ・入館者数 7,997人

(学習会等開催状況) (単位:人、回)

区分	29年度	28年度	比較
学習会参加者数	1,168	1,287	△119
(同開催回数)	(25)	(24)	(1)

- ・アイヌモシリ展示設備改修工事 2,916千円

●生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり

文化団体を育成支援し、市民が芸術活動を発表する場や機会などの環境を整備するとともに、芸術鑑賞機会の拡充を図りました。

・芸術鑑賞機会の充実

- ・えにわ市民文化祭出展・出演状況 (開催日:平成29年10月12日~11月3日)

会場	団体数	個人数	入場者数	(単位:団体、人)
市民会館	展示発表	48	533	1,074
	舞台発表	32	469	2,491
島松公民館	展示発表	9	97	1,589
	舞台発表	20	381	1,880
夢創館	展示発表	3	43	294

・文化団体の育成支援 (P. 164)

文化団体を育成し活動を安定的なものにするため支援しました。

- ・ 恵庭市文化協会補助金 350千円
- ・ 文化活動奨励補助金 (2団体) 173千円

・えにわ芸術文化宅配事業 (P. 164)

市民に地元作家の芸術作品の鑑賞機会を提供する事業であり、登録作品のリストを作成し、貸出業務を行いました。

- ・ 登録作品数 ～ 絵画：43点、書：44点、写真：23点、パッチワーク22点
- ・ 展示箇所 ～ 37箇所 (工場、金融機関、飲食店、事業所等)

・学習支援体制の充実

市民の一人ひとりが生涯を通じて学ぶことができるよう、関係機関や団体と連携して学習機会や学習情報の提供、指導者の養成や学習ボランティア活動への支援や人材の育成に努めながら、総合的な学習活動の推進を図りました。

・海外都市交流の促進 (P. 69・168)

- ・ 恵庭市国際化推進アクションプランの策定
- ・ 姉妹都市ティマル市10周年記念式典への参加
- ・ 姉妹都市ティマル市との図書交流
- ・ 青少年国際交流派遣事業において、市内中高生3名を姉妹都市ティマル市へ派遣

・恵庭市史の編さん (P. 54)

8,421千円

恵庭市史編さん委員会の開催

- ・ 第1回恵庭市史編さん委員会 平成29年6月2日 出席者9名
- ・ 第2回恵庭市史編さん委員会 平成30年2月16日 出席者8名

資料収集

- ・ 平成29年度中収集資料 508点 (寄贈・資料提供含む)

執筆原稿の校正

- ・ 恵庭市の概要、都市間交流、社会福祉に係る原稿の校正

市民の理解と協力の取り組み

- ・ 広報えにわ「恵庭の歴史を歩く」等掲載 年9回

基本目標Ⅴ 地域資源・都市基盤を活かすまち

目標18 地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり

恵庭・島松・恵み野駅を地域の中心とし、地域の特徴を生かしたコンパクトな市街地整備を進めるとともに、自立した都市として商業・業務・工業・文化・学ぶ・にぎわいなどの都市機能の充実をめざした計画的なまちづくりを進め、だれもが安心安全に暮らすことができる利便性の高い都市機能の集積と都市基盤の整備を進めました。

●駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進

J R 駅周辺を地域拠点として位置づけ、都市機能の集積を目指すとともに、郊外部における新たな市街地開発を抑えたコンパクトなまちづくりを進めました。

・恵庭駅西口土地区画整理事業 (P. 252)

291, 276千円

事業実施に必要な用地買収や道路整備に支障となる建物の移転補償を行い、都市計画道路の整備(設計)や緑地整備を推進しました。

・島松駅周辺再整備事業

「人にやさしいまち島松」を目指し、島松駅周辺のバリアフリー化及び都市機能の集約を図るため、関係機関と協議を進め、北海道運輸局、J R 北海道、恵庭市の3者による“恵庭市生活交通改善事業計画策定協議会”を設立し、事業化を目指しています。

なお、平成29年度に予定していた自由通路基本設計についてはJ R 島松駅バリアフリー化の基本方針が定まってから着手することとし、平成30年度に繰越して実施することになりました。

・バリアフリー特定事業 (P. 136)

133, 735千円

バリアフリー基本構想に基づき、公共施設や都市公園、商業施設及びその経路のバリアフリー化を進めました。

・実施路線

恵み野環状通(歩道) (L) L=265m W=3.0m

(R) L=248m W=3.5m

島松中通(歩道)

L=472m W=3.0m×2

目標19 水と緑豊かな生活空間づくり

恵庭の恵まれた自然環境、水資源、景観を活かした生活環境を維持していくため、自然景観の保全と農村景観の維持に努めました。

また、基地との共存をめざし、市内3駐屯地の体制維持、強化を引き続き要請し、併せて防衛施設の設置・運用により生じる障害軽減や緩和を図る防災・防音・民生安定施策を推進し、周辺地域の生活環境向上に努めました。

●水・緑など恵庭の魅力の維持

・小学生ふるさと景観絵画コンクール (P. 149)

市民が景観に対して意識や関心を持ち、主体的な景観作りを定着させるため市内小学生を対象に「ふるさと景観絵画コンクール」を実施しました。

- ・表彰作品展示期間 平成29年9月23日～10月1日 応募総数618作品
- ・市長賞1名、教育長賞1名、審査員特別賞1名、優秀賞7名、佳作10名

・水と緑のまちづくり推進事業 (P. 130～131・140～141)

市民植樹・記念樹の贈呈・花苗植栽等による環境美化事業を行い、市民と協働し取り組みました。

- ・記念樹贈呈事業 新築・誕生・結婚記念 イチイ25本、ハスカップ211本
- ・市民植樹 公園・緑地帯 サクラ4本、アジサイ50本
- ・花壇植栽事業 グリーンベルト花壇・黄金フラワーロード・国道36号
- ・公共施設花樽設置事業 市庁舎・支所・出張所、保健センター等各施設
- ・緑の少年団支援事業 松恵小学校3・4年生 ハスカップ20本
- ・市の花すずらん保存育成 ひばり公園、恵庭光と風の里、えこりん村

・街路樹剪定事業 (P. 139)

14,892千円

幹線道路沿線の街路樹について、計画的に剪定を行い、快適な道路環境の維持に努めました。

・植樹樹・植樹帯管理助成事業 (P. 135)

1,758千円

地域の環境改善や道路沿線の美化の促進のため、植樹樹・植樹帯の美化活動を実施した団体へ助成を行い、緑豊かで潤いのある街づくりを推進しました。

平成29年度実施団体：38団体

・公園施設長寿命化改修事業 (P. 139)

23,792千円

公園遊具改修 7公園11施設

・街区公園美化活動助成金 (P. 140)

2,294千円

助成対象町内会 18町内会 35公園

・河川愛護会補助金 (P. 138)

143千円

・千歳川流域の治水対策の促進

千歳川河川整備計画に基づき、千歳川流域治水対策の早期実現に向けて国、道、流域自治体が連携して治水対策を進めました。

・恵庭かわまちづくり事業 (P. 63)

8,546千円

花の拠点関連事業として河川・水辺の環境・景観形成の向上を図ります。

- ・用地取得、移転補償、緑地植生調査

●市民ニーズに対応した適正な墓所の確保

- ・火葬場改修事業(工事) (P. 110) 12,928千円
 恵浄殿改修計画に基づく改修
 - ・4号炉 耐火ベッド交換
 - ・1号炉、4号炉 燃焼炉セラミック1層張替え
 - ・恵浄殿待合室バリアフリー化

- ・市外火葬場利用助成事業 (P. 110) 57千円
 恵浄殿火葬炉に空きがなく、やむを得ず市外火葬場を利用した場合の助成

- ・新墓園整備事業 (P. 291) 314,712千円
 - ・恵庭第4墓園第1期整備造成
 - ・恵庭第4墓園北エリア駐車場造成
 - ・恵庭第4墓園トイレ新築
 - ・恵庭第4墓園北エリア緑地整備実施設計

- ・恵庭第1墓園外改修事業 (P. 291) 9,459千円
 - ・恵庭第1墓園改修(幹線道路、補助幹線道路、階段、法面)
 - ・恵庭第3墓園改修(張芝)

●防衛施設周辺整備等事業の推進

防衛施設が設置されていることにより生じる障害を防止し周辺地域における生活環境の向上を図りました。

・民生安定事業の推進 (単位：千円)

事業名	事業費	補助金	その他
焼却施設整備事業(一般会計)	1,395,606	695,110	700,496
街区公園再整備事業	40,003	26,668	13,335
恵庭小学校講堂防音機能復旧事業	883	793	90
柏小学校校舎防音機能復旧事業	33,372	30,034	3,338
柏小学校講堂防音機能復旧事業	29,509	26,557	2,952
若草小学校校舎防音機能復旧事業	1,051	945	106
恵明中学校校舎防音機能復旧事業	38,245	34,419	3,826
大町会館防音機能復旧事業	15,029	15,029	0
東恵庭会館防音機能復旧事業	349	349	0
寿町会館防音機能復旧事業	604	604	0
市内図書館空調設備改修事業	1,207	1,207	0
水槽付消防ポンプ自動車更新整備事業	23,163	15,442	7,721
合計	1,579,021	847,157	731,864

※事業費は補助事業費とし、補助基本額以外の関連事務経費を含む。

・国有提供施設等所在市町村助成交付金 (P. 20)

区分	交付額(千円)
29年度	250,739
28年度	255,715
比較	△4,976

・ 特定防衛施設周辺整備調整交付金 (P. 20)

区 分	交付額(千円)
29年度	328,416
28年度	302,490
比 較	25,926

・ 調整交付金事業の推進

(単位：千円)

事 業 名	事業費	調整交付金	その他
道路整備事業	95,561	92,500	3,061
消火栓更新整備事業	4,695	3,900	795
ICT教育整備事業(電子黒板)(小・中学校)	46,546	42,134	4,412
小学校パソコン教室機器更新整備事業	26,378	25,396	982
消防団資器材整備事業	1,334	1,208	126
リサイクルセンター作業車両整備事業	2,484	2,462	22
消防用資器材整備事業	2,986	2,814	172
市立図書館AV機器更新事業	9,790	9,112	678
小学校給食センター厨房用設備更新事業	6,124	5,680	444
恵庭水泳プール改修事業	10,260	9,361	899
大型水槽車積載小型動力ポンプ更新整備事業	2,211	2,109	102
柏陽中学校放送機器整備事業	10,966	10,330	636
第6期ごみ処理場ロータリー除雪車購入事業	25,107	25,106	1
移動型無線蓄電池更新事業	1,361	1,290	71
災害対策用資機材整備事業	17,094	16,995	99
庁舎市民サロン整備事業	5,378	2,273	3,105
庁舎J-ALERT・非常放送設備整備事業	4,925	4,296	629
市民会館設備整備事業	1,793	1,783	10
定置式凍結防止剤散布装置購入事業	8,420	7,366	1,054
特定防衛施設周辺整備調整交付金基金積立金	62,301	62,301	0
合 計	345,714	328,416	17,298

※事業費には調整交付金基本額以外の関連経費を含む

・ 障害防止事業 (P. 29)

区 分	事 業 名	事業費(千円)
補助事業	恵庭地区用水対策事業	77,754

※事業費は補助事業費とする。

目標20 安全で円滑な地域交通

市民と行政が一体となり、それぞれの役割を担う市民協働の体制により、少子高齢化・人口減少社会に対応した利便性の高い道路整備、公共交通ネットワークの推進を図りました。

●除排雪の維持

・除雪の状況 (P. 134~135)

区分	延長 (km)						出動日数(日)	
	車道(直営)	車道(委託)	車道計	歩道(直営)	歩道(委託)	歩道計	直営	委託
29年度末	154.5	385.6	540.1	50.3	139.0	189.3	37	11
28年度末	155.4	385.6	541.0	59.5	121.0	180.5	31	13
比較	△ 0.9	0.0	△ 0.9	△ 9.2	18.0	8.8	6	△ 2

・高齢者除雪サービス事業 (目標9に別掲)

高齢者世帯など除排雪弱者に対し、地域ぐるみのボランティアなどによる支援を進めました。

●身近な市民の足の確保 (新公共交通システムの構築)

第2次恵庭市地域公共交通総合連携計画、及び第2次恵庭市駐車場・駐輪場基本計画に基づきコミュニティバス及びコミュニティタクシーの利用促進、市民駐車場・駐輪場の適切な管理及び利用拡大に努めました。

・新公共交通システムの構築 (P. 56~57)

43,497千円

えにわコミュニティバスの運行再編及び乗合タクシー運行地域の見直しを行うとともにバスロケーションシステムの設置台数をこれまでの恵庭駅西口バス待合所の1台から島松駅、恵み野駅、恵庭駅東口へ導入し、利用者の更なる利便性を図りました。

・地域公共交通活性化協議会 : 全体会議3回

(えにわコミュニティバス運行状況)

路線	便数 ()は土・日・祝日	乗車人数 (人)	1日平均 乗車人数(人)	運賃・回数券・ 定期券収入(円)
A・Bコース	35便(12便)	240,214	658.1	40,232,319

(乗合タクシー運行状況)

便数	乗車人数 (人)	1日平均 乗車人数(人)	運賃・回数券 収入(円)
7便	6,506	22.1	1,557,900

・市民駐車場・駐輪場の管理 (P. 55~56・302)

恵庭駅西口駐車場の雨水枡の補修工事を行い、これまで凸凹していた路面を整備するとともにいざりえ駐輪場内に一日券売機を導入し利用者の更なる利便性を図りました。

・有料駐車場状況

(単位:台)

駐車場名	面積(m ²)	供用開始年月日	収容台数	利用台数
恵庭駅東口	2,907	H19.10.1	105	35,622
恵み野駅東口	3,385	H19.12.1	125	24,351
島松駅横	3,090	H19.12.1	109	30,913
恵み野跨線橋高架下東	3,977	H21.1.1	72	15,555
恵み野跨線橋高架下西	3,305	H21.1.1	73	8,488
恵庭駅西口	2,142	H22.11.1	83	32,809

・駐輪場状況

(単位:台)

駐輪場名	収容台数	駐輪場名	収容台数
恵庭駅	東口	恵み野駅	東口
	西口		西口
	屋内	島松駅	

・放置自転車対策 (P. 56)

986千円

●橋梁耐震化など生活道路の維持

都市の骨格となる幹線道路の整備により地域間の連携を図るとともに、道路改良や維持修繕、歩道の整備により、安全な交通の確保と沿道の環境整備を進めました。

・道路・街路整備事業 (P. 136~137)

- 1) 生活道路整備事業 (調整交付金事業) **95,561千円**
 6路線、改良舗装工事 L=629.89m
- 2) 生活道路整備事業 (地方道路等整備事業) **75,187千円**
 4路線、改良舗装工事他 L=571.69m
- 3) 優良田園住宅歩道整備事業 **11,686千円**
 L=130m

市道の舗装状況

区分	実延長(m)	舗装延長(m)	舗装率(%)
29年度末	532,584	391,521	73.5
28年度末	537,914	390,320	72.6
比較	△ 5,330	1,201	0.9
増加率(%)	△ 1.0	0.3	1.2

・道路補修事業 (P. 134~136)

- 1) 地区道路補修事業 **58,406千円**
 恵み野地区・柏陽地区 車道オーバーレイ A=9,224㎡ 縁石等補修 L=1,140m
 歩道舗装補修 A=2,433㎡ 雨水桝補修 212箇所
- 2) 道路施設補修事業 **25,142千円**
 道路排水施設、舗装等の補修の実施
- 3) 道路付属施設補修事業 (社会資本整備総合交付金事業) **17,302千円**
 照明灯修繕24基

・道路照明省エネ化事業 (P. 134~136)

890千円

平成26年度まで進めてきた灯具のナトリウム化を平成27年度からLED化に変更し、電力使用料とCO2の削減を促進しています。

	既設照明柱数 (基)	うちナトリウム灯 (基)	うちLED灯 (基)	電力使用料 (千円)
29年度	2,149	1,429	134	47,648
28年度	2,144	1,453	101	44,717
比較	5	△ 24	33	2,931

・橋梁長寿命化事業 (P. 136)

254,667千円

- 橋梁補修工事1橋、橋梁補修設計2橋 (238,096千円)
 橋梁点検3橋 (16,571千円)

・自転車の利用促進と恵庭市の魅力発信

自転車に関する関心を高め、自転車道線の整備促進を図るとともに、恵庭を知って、見て、感じてもらい、地域活性化を図ることを目的とした自転車イベントを開催しました。

- ・サイクルフェスタ・恵庭2017：平成29年9月3日
 参加者193人 (市内34人 市外162人)

目標21 安定した水供給と持続的な下水処理

人口減少社会を見据えた効率的な事業運営のため、安全で良質な水道水源の確保と保全の維持及び、下水の適正処理と下水道資源の有効活用に努め、持続可能な循環型社会の構築を目指しました。

●人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営

将来推計人口や現状施設の状況を見据えた事業計画に基づき、平成29年度も効率的な上下水道事業の運営に取り組みました。

- ・ 恵庭市水道ビジョン(平成24年4月策定 計画期間 平成24年度～33年度)
- ・ 恵庭市水道事業経営戦略(平成27年4月策定 計画期間 平成27年度～36年度)
- ・ 恵庭市公共下水道事業基本計画(平成29年3月策定 計画期間 平成29年度～32年度)

●長寿命化事業・耐震化事業・分流化事業による、既存施設の質の改善、安定的・持続的な上下水道の運営

災害に強いライフラインをめざし、事故や災害に備えた危機管理体制の強化と、上下水道設備の耐震化や長寿命化事業を進めました。

・配水管等整備事業 (P. 352～353)

- 1) 配水管布設工事 14,631千円
・ $\phi 50$ L = 582.0m
- 2) 配水管布設替工事 259,642千円
・ $\phi 50 \sim \phi 100$ L = 6,702.3m
- 3) メーター取替工事等 65,634千円
・ 検満メーター取替 5,069個
- 4) その他工事(修繕引当金) 86,022千円
・ 恵庭市水道事業柏木配水池改修工事委託

・下水道管渠等の整備 (P. 407)

277,622千円

- ・ 污水管整備(分流化、未普及)、合流管更生工事(長寿命化)、雨水管渠整備(未普及解消・浸水対策)、公共柵等整備(柵新設、管新設)
[漁町、泉町、本町、有明、中島、戸磯外]

分流化	:	污水管 $\phi 200$ mm	L = 1606.91m
長寿命化	:	雨水管 $\phi 250$ 、 $\phi 300$ mm	L = 189.73m
未普及	:	污水管 $\phi 200$ mm	L = 362.92m
浸水対策	:	雨水管 $\phi 250$ mm	L = 168.59m
柵新設	:	污水柵新設	N = 11基

・ **公共下水道 整備及び水洗化状況**

区 分	平成29年度末	平成28年度末	比 較
認可区域 (ha)	1,865.2	1,865.2	0.0
整備済区域 (ha)	1,850.0	1,850.0	0.0
整備率 (%)	99.2	99.2	0.0
処理区域内人口 (普及人口) (人)	67,680	67,405	275
水洗化人口 (人)	67,531	67,254	277
水洗化率 (%)	99.8	99.8	0.0
水洗化戸数 (戸)	20,878	20,687	191

・ **個別排水処理施設整備事業 (P. 407)**

28,690千円

- ・ 新設 17基 (5人槽 11基、 7人槽 6基)

・ **マイクロガスタービンによる発電**

下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみを集約混合することで消化ガス発生量を増やし、そのガスを利用した場内発電を行うことで、エネルギーの有効活用を図りました。

- ・ 平成29年度発電量実績 1,474,190kWh

目標22 住み続けたいまちづくり 住まいづくり

少子高齢化社会や循環型社会に対応した、良好で安全安心な住環境及び都市環境の向上のため、良質な居住水準の確保と、市営住宅の担うべき役割を踏まえた住宅のストックや各種整備に努めました。

●民間住宅施策の取り組み強化

少子高齢化社会や循環型社会に対応した安全で快適な住環境及び都市環境の向上に努めました。

・市営住宅改修事業

住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存住宅の修繕などを実施しました。

今後も、公営住宅ストックの有効活用と効率的かつ円滑な運用を目的に、耐久性の向上、維持管理の容易化、ライフサイクルコストの縮減に優れた改善事業を推進し、良質な居住水準を確保するとともに、公営住宅の担うべき役割を踏まえたストックの形成に努めます。

・市営住宅等改修事業 (P. 141～142)

15,772千円

給水メーター取替工事

(桜町団地10号棟・12号棟、旭団地1号棟・2号棟)

火災警報器取替工事

(恵央団地3号棟、桜町団地1～12号棟、寿第2・第3団地)

・平成29年度末市営住宅管理戸数

(単位：戸)

名称	建築年度	戸数	形式
柏陽団地	S46～S52	328	1LDK, 2DK, 2LDK, 3DK
恵央団地	H15～H24	182	1LDK, 2LDK, 3LDK
旭団地	S52～S54	166	3DK
桜町団地	H3～H10	228	2K, 2DK, 2LDK, 3LDK
福住団地	S56	32	3DK
若草団地	S53～S59	28	3DK
有明団地	H元	33	2K, 2DK, 3LDK
寿第1団地	S54～S55・H14	58	1LDK, 2LDK, 3DK, 3LDK
寿第2団地	S41～S42	37	2DK
寿第3団地	S49～S50	22	2DK, 3DK
恵み野南団地	S60・H13	48	2DK, 2LDK, 3LDK
計		1,162	

・市営住宅柏陽・恵央団地建替事業

“公営住宅に係るPPP・PFI導入推進事業”の採択により、国土交通省主導で民間活用方式による事業実施の可能性を調査しました。

目標23 ごみの減量と適正な処理

環境負荷低減及び持続可能な循環型社会を形成するため、市民・事業者・行政の役割分担と協働により、ごみの低減化・リサイクルを促進するとともに、ごみ処理に適正な施設整備及び施設の老朽化対策を進めました。

●ごみ処理施設の建設

・焼却施設整備事業 (P.118～119・277～278) 1,886,549千円

最終処分場の延命化や可燃ごみの適正処理など、循環型社会の形成を実現する上で重要な役割を担う焼却施設の供用開始を平成32年を目標として、焼却施設整備を実施しています。

また、前年度に引き続き、焼却施設の建設について周辺地域や市民を対象とした説明会を開催しました。

・説明会等の実施状況：説明会	3回	出席者48人
焼却施設等周辺地域連絡会議	2回	出席者23人

●ごみ減量化の推進、資源リサイクルの推進

市民、事業者、行政の役割と協働により、ごみの減量化とごみ分別を徹底するとともに、資源対象物拡大による資源リサイクルを推進し、環境保全と持続可能な資源循環型社会の形成を目指しました。

・家庭ごみ有料化事業・ごみ発生排出抑制対策の実施 (P.115～118)

1)家庭ごみ有料化事業の実施

- ・ごみ減量率 26.64% (可燃・生ごみ・不燃・粗大・資源収集ごみ)
※有料化前の平成21年度対比

2)ごみ減量化や資源物収集に関する思想普及の取組み

- ・定期リサイクル啓発紙「もっともっとリサイクル」(年1回発行、260千円)
- ・ごみ減量・リサイクル推進地区懇談会 恵庭・恵み野・島松地区各5回(参加者52人)
- ・集団資源回収説明会(参加者52人)
- ・市民の広場「ごみについて考える」(参加者75人)

3)ごみ排出抑制促進事業(生ごみ堆肥化容器助成事業) 助成金 71千円

- ・ダンボール堆肥化資材72台

4)資源回収奨励事業

区 分	数量	備考
集団資源回収量(t)	2,069	集団資源回収量内訳
資源物分別収集量及び直接搬入量(t)	2,599	紙類: 1,989.0 t
資源回収団体奨励金交付事業	実施団体	(うち紙製容器) 55.9 t
	交付額(千円)	6,369
資源物全体に対する割合(%)	44.3	ペットボトル・ビン・缶: 53.2 t その他: 26.9 t

目標24 次世代へつなげる環境

市民・事業者・行政が一体となり、「きれいなまちづくり」や、より良い環境を次世代に確実に引き継ぐ循環型社会の構築を図り、新エネルギー・省エネルギーについての調査、研究を進めました。

●地域環境美化活動への支援

・環境美化活動の推進

ボランティア袋の配布

窓口	13,896枚
町内会	34,070枚

環境美化等推進員
登録件数

町内会	63町内会・自治会
人数	86名

集合住宅ごみ等
優良保管場所累計認定件数

件数	36件
----	-----

・不法投棄防止パトロール

通常パトロール：247日間（3人体制）

管理職パトロール：平成29年7月10日～9月4日の間の
12日間（延べ46人）

●地域に応じた自然環境の保護と管理

近年の産業活動や自動車などを発生源とする各種の公害から、市民の健康を守り良好な生活環境を維持するために、大気・水質等の調査・測定・監視や騒音・振動・悪臭等の発生防止のための指導等を実施しました。

・大気汚染調査（P.111）

浮遊粒子状物質濃度測定：恵庭市牧場環境測定局舎（通年測定）

二酸化硫黄濃度測定：恵庭市黄金環境測定局舎（通年測定）

・水質汚濁調査（P.110）

定期河川水質調査：市内7河川10ヵ所（年6回）

ゴルフ場農薬検査：市内3ゴルフ場（年1回）

地下水水質調査：市内1ヵ所の硝酸性窒素等（年1回）

・自動車騒音常時監視委託（P.111）

騒音測定：国道36号線（恵庭市黄金北4丁目、北柏木町5丁目）

面的評価：（国道36号線）調査区間7.7Km（桜森～戸磯）

・動物管理（P.110）

犬の登録：244件

狂犬病予防注射済票：2,447件

・有害鳥獣駆除（P.110）

スズメ蜂駆除委託件数：79件

●省資源・省エネルギーの促進

「恵庭市 COOL CHOICE 宣言」に基づく地球温暖化対策に資する情報発信、環境省の補助金を活用した”地域と連携したCO2排出削減促進事業”、省エネ機器導入促進を目的とした”恵庭市低炭素まちづくり促進事業”等を実施しました。

・環境審議会の開催（2回）

恵庭市の環境、地球温暖化防止実行計画の進捗、漁川流域に係る水道水源の水質の保全に係る条例等について協議しました。

・新エネルギー・省エネルギー懇談会の開催（2回）

地球温暖化防止実行計画の進捗、えにわ・環境エネルギー展などのほか、地球温暖化関連計画等の統合・懇談会の今後の取扱いについて協議し、平成29年度をもって当該懇談会は解散することとなりました。

・恵庭市低炭素まちづくり促進事業（P.111）

市内の住宅に高効率給湯器、太陽光発電設備等を設置する市民を対象に奨励金を交付しました。

高効率給湯器 41件、太陽光発電設備 7件、木質バイオマスストーブ 5件

家庭用燃料電池 3件

・電気自動車等用急速充電器の運用（P.111）

設置場所：道と川の駅「花ロードえにわ」

利用件数：27件

・COOL CHOICEの取組み

事業団体における講演会 1回

啓発ポスターの作成 2回

リーフレットの作成・配布 3回

冊子の作成・配布 3回

エコバス車体・車内広告

イベント（環境・エネルギー展）の開催

うちエコ診断の実施 3回

個人・企業を対象にしたCOOL CHOICE賛同登録の募集（個人2,078件、企業62件）